

「学生便覧別冊」

# 昭和45年度開講科目



お茶の水女子大学



# 目 次

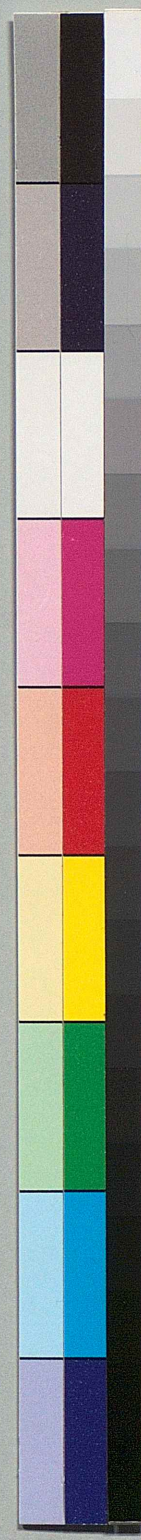
一般教育科目	.....	共1
保健体育科目	.....	共5
外国語	.....	共6
教職教育科目	.....	共12
文教育学部(人文科学研究科)	.....	文1
理学部(理学研究科)	.....	理1
家政学部	.....	家1

## 附 表

1. 授業時間割表
2. 行事予定表
3. 補導委員・学科主任一覧

一般教育科目、保健体育科目、外国語科目、教職教育科目、文教育学部、理学部、家政学部の科目表

学年	1	2	3	4	5	6
1	英語(1)	英語(2)	英語(3)	英語(4)	英語(5)	英語(6)
2	英語(7)	英語(8)	英語(9)	英語(10)	英語(11)	英語(12)
3	英語(13)	英語(14)	英語(15)	英語(16)	英語(17)	英語(18)
4	英語(19)	英語(20)	英語(21)	英語(22)	英語(23)	英語(24)
5	英語(25)	英語(26)	英語(27)	英語(28)	英語(29)	英語(30)
6	英語(31)	英語(32)	英語(33)	英語(34)	英語(35)	英語(36)



一般教育科目・基礎教育科目・保健体育科目・外国語科目・教職教育科目等授業時間割

( ) 印は前期, [ ] 印は後期, 無印は通年, ㊦は人文系列, ㊧は社会系列, ㊨は自然系列, ㊩は教職教育科目

区分	1	2	3	4	5	6	7	8
時間	8.30 ~ 9.20	9.20 ~ 10.10	10.20 ~ 11.10	11.10 ~ 12.00	13.10 ~ 14.00	14.00 ~ 14.50	15.00 ~ 15.50	15.50 ~ 16.40
月	㊦ 国語心理教育 (301) ㊦ 心理学 (301) ㊦ 青年心理春日 (講堂)	青藤水 (301) 藤永 (新1) (講堂) 吉田章	㊦ 法経学 I (講堂) ㊦ 基礎動物学 II (柳田) (23)	井上垣 (講堂) (304)	(基礎植物学 I 津山) (31) 基礎数学 I (小川) [小山] (23)	㊦ 小学校教材研究 体実英・教 I (林) (熱田)	㊦ 小学校教材研究 体実化・生 I (熱田)	㊦ 小学校教材研究 体実数・物 I (熱田) (奥水)
火	英語 II A 宮川 (301) 英語 II B 石渡 (204) 英語 I A 長谷川 (別2) 英語 I B 小池 (203) 英語 II A 小池 (302) 英語 II B 松尾 (303) 語文 II B 中川 (201)	英語 II A 野島 (302) 英語 I B 羽田 (205) 英語 I A ルイス (203) 英語 II A 小川 (303) 英語 II B 新田 (204) 語文 I A (文) 石川 (201)	英語 II A 酒本 (203) 英語 II B 小池 (204) 英語 II A 山山 (302) 英語 II B 山山 (303) 英語 I B 長谷川 (別2) 英語 I C 宮川 (205) 英語 I A (文) 志田 (102) 英語 I A (文) 杉本 (404) 英語 II B 松尾 (101) 英語 I A (文) 石川 (201) 基礎数学 I (亀谷) [沢島] (23)	英語 II C 宮川 (101) 英語 I A 小池 (204) 英語 I B (読) 志田 (102) 英語 I B (文) 上野 (302) 英語 II A 原尾 (303) 英語 II A 松尾 (203) 英語 I B (読) 中川 (205) 英語 I A (読) 石川 (201)	英語 II C 宮川 (101) 英語 I A 小池 (204) 英語 I B (読) 志田 (102) 英語 I B (文) 上野 (302) 英語 II A 原尾 (303) 英語 II A 松尾 (203) 英語 I B (読) 中川 (205) 英語 I A (読) 石川 (201)	独語文 II A 野村 (303) 独語文 II B 原田 (201) 独語文 I B (演) 上野 (302) 独語文 II A 石川 (203) 独語文 II A 石川 (205)	独語文 II A 野村 (303) 独語文 II B 原田 (201) 独語文 I B (演) 上野 (302) 独語文 II A 石川 (203) 独語文 II A 石川 (205)	独語文 II A 野村 (303) 独語文 II B 原田 (201) 独語文 I B (演) 上野 (302) 独語文 II A 石川 (203) 独語文 II A 石川 (205)
水	㊦ 教育原理 (新1) [基礎動物学 I 荒木] (23)	㊦ 教育指導 宮田 (新1) (講堂) ㊦ 保健 松本 (講堂)	㊦ 文芸学 I (新1) (304) ㊦ 法経学 II (湯沢) [稲本] (201) ㊦ 数学 I (本) (301) ㊦ 物理学 B (橋) (31) ㊦ 物理学 C (黒) (31) ㊦ 化学 A (曾) (23) ㊦ 化学 D (根) (23)	㊦ 堤 (新1) (304) ㊦ (林) [柳] (201) ㊦ (湯沢) [稲本] (201) ㊦ 本 (301) ㊦ 岩 (203) ㊦ 橋 (31) ㊦ 黒 (31) ㊦ 曾 (23) ㊦ 根 (23)	独語理 I B (演) 宮原 (203)	独語理 I A (読) 宮原 (203)	㊦ 宗教学 高木 (新1)	
木	英語 II A 野島 (302) 英語 I B 羽田 (205) 英語 I A ルイス (203) 英語 II A 小川 (303) 英語 II B 新田 (204) 語文 I A (文) 石川 (201)	英語 II A 野島 (302) 英語 I B 羽田 (205) 英語 I A ルイス (203) 英語 II A 小川 (303) 英語 II B 新田 (204) 語文 I A (文) 石川 (201)	英語 I B 伊吹 (101) 英語 I B 海老根 (203) 英語 I C 小池 (204) 英語 I A (文) 杉本 (205) 英語 II A 志田 (301) 英語 II B 小川 (303) 英語 I B (文) 中川 (302) 英語 II B 石川 (201)	英語 I B 伊吹 (101) 英語 I B 海老根 (203) 英語 I C 小池 (204) 英語 I A (文) 杉本 (205) 英語 II A 志田 (301) 英語 II B 小川 (303) 英語 I B (文) 中川 (302) 英語 II B 石川 (201)	英語 II B 海老根 (203) 英語 II C 小池 (204) 英語 I A 長谷川 (別2) 英語 I B (文) 吉田 (201) 英語 II B 飯島 (303) 独文学演習高級 (杉本) [志田] (403) 独語文 II B (演) シェイルンベルク (401) 独語理・家 I (文) 石川 (302) 独文学演習高級 (森下) [林] (402)	英語 II B 海老根 (203) 英語 II C 小池 (204) 英語 I A 長谷川 (別2) 英語 I B (文) 吉田 (201) 英語 II B 飯島 (303) 独文学演習高級 (杉本) [志田] (403) 独語文 II B (演) シェイルンベルク (401) 独語理・家 I (文) 石川 (302) 独文学演習高級 (森下) [林] (402)	独語文 I A (読) 井原 (301) 独語文 I A (演) 飯島 (302) 独語文 I B (演) 吉田 (201) 独語文 II A 杉本 (303) 独語文 II A 杉本 (303)	独語文 I A (読) 井原 (301) 独語文 I A (演) 飯島 (302) 独語文 I B (演) 吉田 (201) 独語文 II A 杉本 (303) 独語文 II A 杉本 (303)
金	㊦ 歴史学 (尾鍋) [大口] (新1) ㊦ 倫理学 (尾石) [塚] (301) ㊦ 心理学 (尾石) [塚] (301) ㊦ 教育学史 A (宮坂) (304) ㊦ 物理学 A (阿) (23) ㊦ 社会学 D (瀬) (23) ㊦ 教育学史 B (下) (201) ㊦ 社会学 B (式) (203)	㊦ 尾鍋 (新1) [大口] (301) ㊦ 尾石 [塚] (301) ㊦ 尾石 [塚] (301) ㊦ 宮坂 (304) ㊦ 阿 (23) ㊦ 瀬 (23) ㊦ 下 (201) ㊦ 式 (203)	㊦ 哲学 (石) 塚 (新1) (音講) (201) ㊦ 文化人類学 (大) 田 (201) ㊦ 政治学 (岩) 井 (304) ㊦ (地) 学・天 (岩) 井 (203) ㊦ (統) 計 (岩) 井 (23) ㊦ (植) 物 (岩) 井 (301) ㊦ (動) 物 (岩) 井 (23) ㊦ (教) 育 (岩) 井 (20) ㊦ (基) 礎 (岩) 井 (31)	㊦ 石 塚 (新1) (音講) (201) ㊦ 大 田 (201) ㊦ 岩 井 (304) ㊦ (地) 学・天 (岩) 井 (203) ㊦ (統) 計 (岩) 井 (23) ㊦ (植) 物 (岩) 井 (301) ㊦ (動) 物 (岩) 井 (23) ㊦ (教) 育 (岩) 井 (20) ㊦ (基) 礎 (岩) 井 (31)	㊦ 社会学 (園) 田 (304) ㊦ 基礎数学 II (松) 田 (23)	㊦ 社会学 (園) 田 (304) ㊦ 基礎数学 II (松) 田 (23)	㊦ [家] 政 (田) 迎 (201) ㊦ 地 (浅) 海 [正] 井 (23)	㊦ [家] 政 (田) 迎 (201) ㊦ 地 (浅) 海 [正] 井 (23)
土	英語 II A 酒本 (102) 英語 II B 藤首 (204) 英語 II A 石渡 (302) 英語 II B 海老根 (101) 英語 I A 南 (205) 英語 I B 南 (205) 英語 I A (演) 志田 (301) 英語 I A (演) 杉本 (303) 英語 I B (文) 山本 (404) 英語 I B (文) 小池 (201) ㊦ (道徳教育の研究 宮田・尾田) (新1)	英語 II A 酒本 (102) 英語 II B 藤首 (204) 英語 II A 石渡 (302) 英語 II B 海老根 (101) 英語 I A 南 (205) 英語 I B 南 (205) 英語 I A (演) 志田 (301) 英語 I A (演) 杉本 (303) 英語 I B (文) 山本 (404) 英語 I B (文) 小池 (201) ㊦ (道徳教育の研究 宮田・尾田) (新1)	英語 I B 首藤 (203) 英語 I A 南 (302) 独語文 I B (演) 山本 (301) 独語文 I A (演) 杉本 (303) 独語文 I B (読) 志田 (204) 独語文 I A (演) 小池 (201) 独語文 I・英 I (演) 後藤 (101)	英語 I B 首藤 (203) 英語 I A 南 (302) 独語文 I B (演) 山本 (301) 独語文 I A (演) 杉本 (303) 独語文 I B (読) 志田 (204) 独語文 I A (演) 小池 (201) 独語文 I・英 I (演) 後藤 (101)	㊦ 社会学 (園) 田 (304) ㊦ 基礎数学 II (松) 田 (23)	㊦ 社会学 (園) 田 (304) ㊦ 基礎数学 II (松) 田 (23)	㊦ [家] 政 (田) 迎 (201) ㊦ 地 (浅) 海 [正] 井 (23)	㊦ [家] 政 (田) 迎 (201) ㊦ 地 (浅) 海 [正] 井 (23)
区分	A		B		C		注1 左表は外国語の組分。	
英語	文A 哲史地	文B 国体	文C 教中音	理A 数物	理B 化生	家A	注2 化学は岡嶋教官の指示により、文家両学部をAとBの2組に分ける。	
独語	文A 哲史地教	文B 国中英体音	理A 数物	理B 化生	家A	注3 ギリシャ語、ラテン語、ロシア語は文教育学部共通科目である。外国語科目にはできない。		
仏語	文A 哲史地教	文B 国中英体音	全A 文A+理	全B 文B+家				

※変更する事もありまので廊下にある一般教育等の時間割を見ること。

次  
共1  
共5  
共6  
共12  
文1  
理1  
家1

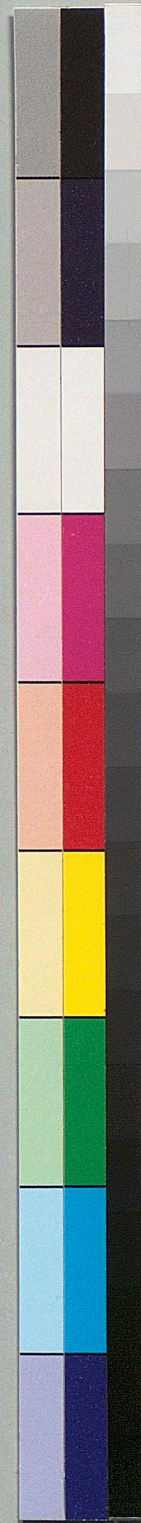
昭和45年度行事予定表

月 日 (曜)	事 項
4月10日(金)	入学式
4月15日(水)	前学期授業開始
5月上旬	定期健康診断(2年次以上)
5月21日(木)	全学遠足
5月中旬～6月	球技大会
7月2日(木)	授業終了
9月11日(金)	授業開始
10月3日(土)～9日(金)	前学期末試験
10月11日(日)～20日(火)	前学期末休業
10月21日(水)	後学期授業開始
11月6日(金)	体育祭
11月21日(土)・22日(日)	文化祭(23日勤労感謝の日)
11月29日(日)	創立記念日
12月24日(木)	授業終了
1月8日(金)	授業開始
2月4日(木)～10日(水)	卒業(修了)予定者試験
2月20日(土)～26日(金)	第3年次以下試験
3月23日(火)	卒業(修了)式

昭和45年度補導委員・学科主任

学 科	1 年	2 年	3 年	4 年	学科主任
哲学	尾 田	柏 原	茅 野	柳	柳
史 学	尾 鍋	平 野	青木・中村 和 田	青木・中村 和 田	和 田
地 理	浅 井	正 井	式	浅 海	松 井
国 文	市 川	次 田	江 湖 山	堤	井 本
中 文	中 山	中 山	中 山	中 山	頼
英 文	長宮 谷 川	外 山	野 島	伊 吹	伊 吹
教 育	吉 田(肇)	藤 永	宮 田	小 口	小 口
体 育	山 中	山 中	松 本	松 本	糸 吉
音 楽	蘭 田	美 田	遠 見	大 宮	大 宮
数 学	高 村	伊 関	小 山	立 花	立 花
物 理	田 中	亀 井	橋 爪	阿 阪	石 黒
化 学	細 矢	佐 野	曾 根	中 西	中 西
生 物	津 山	団 塚	本 新関・荒木	太 田	太 田
児 童	本 田	田 口	辻 村	浅 見	津 守
食 物	山 西	中 谷	五 十 嵐	荒 川	松 元
被 服	長 谷 部	矢 部	中 島	林	谷 田
家 経	犬 塚	湯 沢	伊 藤		田 辺

一 般 教 育 科 目  
 保 健 体 育 科 目  
 外 国 語  
 教 職 教 育 科 目



## (一般教育科目)

## 人文科学系列

科 目	教 官	学 年	内 容
哲 学	石 塚	I	哲学についての一般的な序説の後、西洋哲学思想史を古代・中世・近世・現代にわたって。
倫 理 学	尾 田	I・II前	現代生活における倫理の問題を、科学・経済・政治・教育・芸術・宗教の側面から扱う。テキスト「一般倫理学」(理想社)
論 理 学	石 塚	I・II後	一般教育としての論理学。 論理学概論：武市健人編(青春出版社) ¥350
心 理 学	藤 永	I・II・III・IV	なるべく日常的な事象に即しながら、現代心理学の対象、方法、領域などの展望を試みる。 現代心理学入門：末永俊郎(有斐閣) ¥340
宗 教 学	高 木	I・II	さまざまな宗教現象を人間の間、社会の間から分析解明する。とくに日本の宗教など身近な問題についてその意味や役割を考える。
文 学 I	堤		日本文学の側から、文学のもつ意義を考えながら、併せて文学研究について説明する。
文 学 II	志 田 杉 本	前 後	テキストに、手塚富雄：「ドイツ文学案内」(岩波文庫)を用い、主として19世紀ドイツ文学の思潮をたどりながら、その主性格を明らかにしたい。
芸 術 学	林	I・II前	美を抽象的、思弁的に考察しようとする美学に対し、芸術ことに造形芸術を対象とし、作品の形式を具体的、直観的に考究する。
芸 術 学	柳	I・II後	美術を中心とする芸術の問題を、史的現象と関連させながら解明。対象として主として西洋のものを扱う。
国 語	青 木	I	古典の言葉を種々の角度から眺め、その雰囲気・ニュアンス等をつかむ手がかりを拾い上げてゆく。
音 楽	大 宮	I・II	ベートーヴェンの音楽。個性的創造の探究。

社会科学系列

科 目	教 官	学 年	内 容
法 学 I	井 上	I	日本国憲法の講義。 1年を通じて、条文の解釈、判例の検討を社会的背景との関連で行なう。
法 学 II	湯 沢 稲 本	II	くらしの基礎となる人格、家族、取引、賠償等を規定する民法を中心に生活の法と法現象を考察する。小六法全書が必要。前期湯沢、後期稲本
政 治 学	岩 井		主として政治意識と行動の面から、政治の世界の特質を明らかにして行きたい。テキストを使用する予定であるが未定。
経 済 学	柴 垣		近代資本主義経済の生成・発展・変質の過程を概観し、さらにそれを貫く経済法則の原理を講述する。大内力他著『経済学概論』(東大出版会)
社 会 学	園 田	II	社会学の基礎概念や理論を説明しながら、現代社会の諸問題を解明してゆく。松原治郎他「現代日本の社会学」(時潮社) ¥600
歴 史 学	尾 鍋	I・II前	尾鍋輝彦：カイゼルの髭(大世界史、第19卷)(文芸春秋社) ¥500
歴 史 学	大 口	I・II後	幕藩制の衰頹から明治維新までの時期に重点をおく予定。
文化人類学	田 辺	I・II後	単なる文化の学としてでなく、文化をもった動物としての人を全体的にみてゆく。
地 理 学	浅 海	I 前	調査、研究例を中心とした地理学の方法の紹介。主として国内の例を示す。
地 理 学	正 井	I 後	世界の諸地域における人文地理学的考察。特に、経済発達・集落景観・都市問題について。
家 政 学	田辺・他	I 後	家政学の概説と現況

自然科学系列

科 目	教 官	学 年	内 容
数 学	本 田	I 文・家	一般教育としての数学(古代ギリシャ人と数学、学、数学史のアウトライン、実数論・集合論群論の初歩、ヨーロッパ文化と数学。)
物 理 学	岩 田	I 文・家	物理学史および現代物理学の概観。
化 学	岡 嶋	I 文・家	一般教育としての化学通論。(二組にわけの)林太郎：化学綜説 ¥630 裳華房
生 物 学 (動 物)		I 後 文・家	
生 物 学 (植 物)	清 水	I 前 文・家	地球上における生命の発生を中心に。
地 学 (天文・気象)	荒 川	I・II前	一般教育としての地学概論。 関口直輔：教養地学、¥480 地人書館
地 質 学 (地質・鉱物)	式	I・II後	重力、地震、火山、岩石、地層、地史など地学的諸現象に関する概論的解説。
統 計 学	魚 返	I 前	一般教育としての統計学。P. G. ホーエル著、浅井、村上、共訳：初等統計学 ¥620 培風館

総合コース

日本と外国

勝部, 谷田, 大宮, 波多野, 外山, 中川, 頼, 堤 (人文系列関係)  
 河野, 市古, 湯沢, 蠟山 (社会 / )  
 渡辺(俊), 稲垣, 亀谷, 太田, 荒川(秀) (自然 / )

一般教育関係科目の各分野にわたる共通な一つの主題について、総合的に学ぶものである。

主として二年生対象。

履修単位数：同一年度において4単位まで履修可能で、二年度までの計8単位が一般教育科目の基礎単位として数えられるが、一系列については4単位をこえてはならない。

セミナー：総合コースの成果をあげるため前・後期、各1～2回程度セミナーを行なう。

試験方法：学年度末に試験が行なわれるが、その際各担当講師から試験問題が示され、学生はそのなかから受験科目をきめる。  
 三系列のうちいずれの系列の科目を受験することも自由であるが、一系列について2単位まで、全体で計4単位を取得限度としている。

保健体育科目

科目	教官	学年	内容
保健体育理論	林 松本 石山	全I前	個人衛生ならびに公衆衛生, 体育の概論と女子体育活動について講義する。
体育実技	林 石山 山中 熱田 森下 輿水 古江	I・II	学内実習においては, 体操・軽スポーツ・ダンス。学外実習では, 水泳・スキー・スケート・ハイキングなどを行なう。 1, 2年次のあいだに正規の時間割により60時間, 別に定める学内および学外の実習計画に参加して30時間を履修する。



## (外国語)

## 英 語

科 目	教 官	学 年	内 容
(初 級)	長谷川	文 I A	E. Hemingway: A Farewell to Arms (英潮社) ¥540 S. Anderson: Winesburg, Ohio (南雲堂) ¥160
( 〃 )	小 池	文 I A	G. Orwell: Animal Farm (Penguin 社)
( 〃 )	長谷川	文 I B	W. Cather: My Mortal Enemy (成美堂) ¥160 T. Capote: Other Voices, Other Rooms (英潮社) ¥380
( 〃 )	羽 田	文 I B	テキスト Kluckhohn, C.: Mirror for Man (金星堂)
( 〃 )	宮 川	文 I C	A. Bierce: The Monk and the Hangman's Daughter (大阪教育図書) ¥250
( 〃 )	小 池	文 I C	A. Miller: A View from the Bridge (Penguin 社)
( 〃 )	南 方	理 I A	Aldous Huxley (川口正秋・田桐大澄注解): Richard Greenow and Cynthia (成美堂)
( 〃 )	長谷川	理 I A	E. Hemingway: The Old Man and the Sea (南雲堂) ¥220 T. Rattigan: The Browning Version (成美堂) ¥250
( 〃 )	小 池	理 I B	E. Hemingway: A Farewell to Arms (Penguin 社)
( 〃 )	伊 吹	理 I B	Herbert Read: The Cult of Sincerity (英宝社)
( 〃 )	亀 山	家 I A'	
( 〃 )	南 方	家 I A	Iris Murdoch (室谷洋三編注): The Uiccorn (朝日出版社)

科 目	教 官	学 年	内 容
(初 級)	首 藤	家 I B	The Conquest of Happiness. B. Russell 註 高見顕治 (南雲堂)
( 〃 )	海老根	家 I B	C. S. Lewis: The Four Loves (あぼろん社) ¥280
(上 級)	酒 本	文 II B	T. Wilder: The Bridge of San Luis Rey (南雲堂, ¥400)
( 〃 )	野 島	文 II A	C. McCullers: The Ballad of the Sad Café 尾上政次注 (南雲堂) ¥240
( 〃 )	海老根	文 II B	N. Frye: The Educated Imagination (鶴見書店) ¥300
( 〃 )	小 池	文 II B	G. B. Shaw: Saint Joan (Penguin 社)
( 〃 )	宮 川	文 II C	T. Hardy: An Imaginative Woman and Other Stories (英宝社) ¥250
( 〃 )	小 池	文 II C	J. K. Jerome: Three Men in a Boat (Penguin 社)
( 〃 )	酒 本	理 II A	Bernard Malamud: The Magic Barrel and Other Stories (研究社小英文学双書) ¥260
( 〃 )	宮 川	理 II A	A. Bierce: The Eyes of Panther and Other Stories. (英宝社) ¥240
( 〃 )	首 藤	理 II B	Charles P. Snow: Seven Choice Essays 註 多田幸蔵 (南雲堂)
( 〃 )	石 渡	理 II B	R. Church (新木正之介註) 松柏社 Over the Bridge ¥280
( 〃 )	石 渡	家 II A	Rutherford (渡辺美和夫註) Atonement and Other Stories (研究社小英文叢書) ¥200
( 〃 )	亀 山	家 II A	

科 目	教 官	学 年	内 容
(上 級)	外 山	家Ⅱ B	英語的発想を理解するのに適する、テキストを選んで、英語を味続する。
( 〃 )	海老根	家Ⅱ B	D. H. Lawrence: Twilight in Italy (あぼろん社) ¥250
全 Ⅰ	ルイス	Ⅰ	English 900 Vol. 3 English Language Services (The Macmillan Co.)
全 Ⅱ	ルイス	Ⅱ	English 900 Vol. 3 English Language Services (The Macmillan Co.)

ド イ ツ 語

科 目	教 官	学 年	内 容
ドイツ語(初級)		Ⅰ	文法と演習は毎週それぞれ2時間ずつ通年合計2単位。読本は毎週2時間ずつ通年2単位。各級とも文法・演習・読本合計6時間4単位履修。
( 〃 )	志 田	文Ⅰ A	文法 } 志田: 志田ドイツ文法読本(第三書房) ¥400
( 〃 )	志 田	文Ⅰ A	演習 }
( 〃 )	井 原	文Ⅰ A	読本 教科書未定。
( 〃 )	吉 田	文Ⅰ B	文法 教科書未定。
( 〃 )	山 村	文Ⅰ B	演習 教科書未定。
( 〃 )	志 田	文Ⅰ B	読本 志田・宮原: 美しいドイツ語(白水社) ¥280
( 〃 )	杉 本	理Ⅰ A	文法 } 野本・杉本: 新講ドイツ文法(同学社) ¥360
( 〃 )	杉 本	理Ⅰ A	演習 }
( 〃 )	宮 原	理Ⅰ A	読本 教科書未定。
( 〃 )	上 野	理Ⅰ B	文法 教科書未定。
( 〃 )	宮 原	理Ⅰ B	演習 教科書未定。
( 〃 )	志 田	理Ⅰ B	読本 志田: 志田ドイツ文法読本(第三書房) ¥400
( 〃 )	杉 本	家Ⅰ A	文法 } 野本・杉本: 新講ドイツ文法(同学社) ¥360
( 〃 )	杉 本	家Ⅰ A	演習 }

科 目	教 官	学 年	内 容
ドイツ語(初級)	飯 島	家 I A	読本 教科書未定。
( ♪ )	山 村	家 I B	文法 教科書未定。
( ♪ )	上 野	家 I B	演習 教科書未定。
( ♪ )	吉 田	家 I B	読本 教科書未定。
( 上 級 )		II	上級講読は、毎週2時間で通年2単位、各級とも毎週4時間4単位履修。
( ♪ )	志 田	文 II A	講読 志田・横溝：Wolfgang von Gott geliebt (南江堂) ¥280
( ♪ )	野 村	文 II A	講読 教科書未定。
( ♪ )	原 田	文 II B	講読 教科書未定。
( ♪ )	小 川	文 II B	講読 教科書未定。
( ♪ )	原 田	理 II A	講読 教科書未定。
( ♪ )	小 川	理 II A	講読 教科書未定。
( ♪ )	松 尾	理 II B	講読 教科書未定。
( ♪ )	新 田	理 II B	講読 教科書未定。
( ♪ )	松 尾	家 II A	講読 教科書未定。
( ♪ )	杉 本	家 II A	講読 H. Hesse：Erinnerung an Hans (郁文堂) ¥300
( ♪ )	飯 島	家 II B	講読 教科書未定。
( ♪ )	松 尾	家 II B	講読 教科書未定。
独文学演習 (高級)	杉 本	英文 III IV	(前期) Th. Mann：Tristan (三修社) ¥250
	志 田	全 III IV	(後期) H. Hesse：Indischer Lebenslauf (郁文堂) ¥300
独 会 話	システイル ンベルク	II III IV	教科書未定。

フランス語

科 目	教 官	学 年	内 容
(初 級)	石 川	文 I A (文法 読本)	朝倉季雄『朝倉フランス語一文法一』(白水社) ¥340 [文法と読本の両時間ともに、このテキストを使用する]
( ♪ )	小 池	文 I A (文法 演習)	テキスト未定。
( ♪ )	中 川	文 I B (文法 読本)	未定 文法と読本の両時間ともに同じテキストを使用する。
( ♪ )	小 池	文 I B (文法 演習)	テキスト未定。
( ♪ )	石 川	理・家 I (文法 読本)	[文法と読本の両時間ともに、同じテキストを使用する]
( ♪ )	後 藤	理・家 I (文法 演習)	教科書一未定。
(上 級)	石 川	全 II A	Hervé Bazin：Le Bureau des mariages (朝日出版社) ¥270
( ♪ )	中 川	全 II A	クロード・アヴリース：浪費された時間 (朝日出版社) ¥270
( ♪ )	石 川	全 II B	Stendhal：Ernestine (第三書房) ¥180
( ♪ )	中 川	全 II B	未定。
仏 語 高 級 (仏文学演習)	中 川	III・IV	アヌイ：アンチゴヌ (大学書林) ¥400
仏 語 会 話	ロイック	II・III・IV	“青春のパリジェンヌ” 井村実名子編 駿河台出版社 ¥350

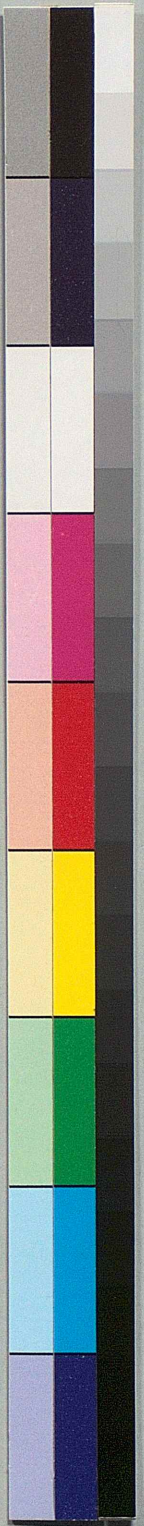
教職教育科目

科 目	教 官	学 年	内 容
教育心理	吉 田	Ⅱ 前	教育における心理学的問題について考える。
青年心理	春 日	Ⅱ 後	青年期を対人行動の発達過程における一時期としてとらえその行動に及ぼす要因を分析し青年期の対人行動の力動性について学ぶ。
教育原理	吉 田	Ⅱ・Ⅲ前	教育の目的、制度、内容、方法についての概略と問題点。
教育指導	宮 田	Ⅰ・Ⅱ	教育指導の歴史と問題 アメリカにおけるガイダンスの歴史 教育指導の諸問題
教育哲学	周 郷		現代における教育哲学の問題、その苦渋と問題点。教育哲学の創造のための諸要因と思想。教育とは何か、人間とは何か、を中心に。
教育史	宮 坂	Ⅰ～Ⅳ前	教育史上の諸問題——政治と教育、経済と教育、戦争と教育、科学と教育など——について、事例をあげつつ系統的な認識の発展につとめる。
教育社会学	麻 生		
教育行政学	森	Ⅱ・Ⅲ前	教育行政概説。教師の役割、教育にたいするコントロールを中心に、具体的な教育問題を通して明らかにしたい。
道德教育の研究	尾 田	Ⅱ・Ⅲ前	道德教育の本質と目標について。テキスト「道德教育の研究」(酒井書店)
道德教育の研究	宮 田	Ⅰ・Ⅱ前	戦後における道德教育の歴史 反省期の道德教育論 全面主義道德教育論の成立 特設主義道德教育論の成立
教科教育法		Ⅲ	高・中教員希望者のため、第三年次において各教科毎に講義2単位を履修し、第四年次のはじめ「観察参加」として1単位履修。計3単位。観察参加6月5日(金)～20日(土)の予定。

科 目	教 官	学 年	内 容
(社 会)		Ⅲ 前	2分野の共通のテキスト「中学校社会科指導書」および「高等学校社会科学学習指導要領」
歴 史	尾 鍋	Ⅲ 前	中学校学習指導要領、社会
地 理	大和田	Ⅲ 前	地図の話。および地理教育を中心に社会科教育のあり方と問題点を研究する。
(国 語)	斎 藤	Ⅲ	国語教育の歴史、目標、内容、方法教材研究等について講義中心に行なう。
(英 語)	長 命	Ⅲ 後	未定。
(中 国 語)	戸 川	Ⅲ	『中文語法』1970(大修館)を使用。現代漢語の動詞の機能と構詞法を中心に講述する。
(保 健 体 育)	林	Ⅲ 前	保健体育科の教育方法についての基礎理論。文部省：学習指導要領の研究。
(保 健)	松 本	Ⅲ 前	保健教育の理論と実際。
(音 楽)	美 田	Ⅲ	小・中・高校の音楽教育における指導法、教材研究を行なう。
(数 学)	前 原	Ⅲ 前	
(理 科)	池 本	Ⅲ 後	理科教育の趨勢、目標、学習指導の計画および方法、評価、防災など。
(家 庭)			
教育実習		Ⅳ	高校・中学教員のための実習(2単位)、小学校・幼稚園教員のための実習(4単位)。高中は7月と9月の予定。付属校および学外協力学校で実施。 第一期 7月3日(金)～17日(金)の予定 第二期 9月3日(木)～17日(木)の予定

学 科	教 官	学 年	内 容
小学校教材研究 (国語) (社会) (算数) (理科) (家庭) (音楽) (図工) (体育)	大橋 宮地 加藤 阿久沢 富平 福田 萩原 古江	Ⅲ・Ⅳ	小学校の国語科・社会科・算数科・理科・音楽科・図工科・体育科・家庭科の各学科の教材研究。 小学校学習指導要領—文部省— 約¥200 各教科の指導書—文部省— 各科それぞれ約¥50
保育内容の研究			

## 文 教 育 学 部



哲 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
哲学概論	茅 野	I・II・III	哲学入門をかねた哲学通論とし、哲学と科学、哲学と世界観、の異同を明らかにする。用書。哲学概説：桂壽一（東大出版）。¥580
西洋古代中世哲学史	斎 藤	II・III・IV	西洋古代ギリシャの哲学史を中心にする。
西洋近代哲学史	柏 原	II・III・IV	西洋近代哲学史。今年は啓蒙期を中心にして。
哲学特殊講義 I	茅 野	I・II・III	現代の歴史哲学。とくに歴史認識の問題。用書。W. H. Dray (ed.) : Philosophical Analysis and History, Harper & Row, 1966. ¥1660. 参考書。茅野良男：歴史のみかた（紀伊国屋新書）。¥300
哲学特殊講義 II	柏 原	II・III・IV	存在論の歴史哲学的研究。実存哲学を軸としながら、人間と歴史とを主題的に扱い、近代と対比される現代を哲学的に解明する。
哲学講義演習 I	茅 野	III・VI	言葉と存在の問題。用書。Martin Heidegger, Über den Humanismus. ¥440. 後期はひきつづき、形而上学と存在の問題に関するハイデガーの小論文をよむ。
哲学講義演習 II	柏 原	III・IV	キルケゴール研究。S. Kierkegaard, Krankheit zum Tode. (Hirsch訳のドイツ語版を使用。)
哲学講義演習 III	石 塚	III・IV	カント哲学に於ける認識の問題。I. Kant : Kritik der reinen Vernunft. (前年度の続き)。
哲学講義演習 IV	茅 野	II	哲学基礎演習。用書。Max Weber, Wissenschaft als Beruf. ¥380. 後期はさらに、Karl Jaspers, Über Bedingungen und Möglichkeiten eines neuen Humanismus, Reclam, ¥100. をよむ。

科 目	教 官	学 年	内 容
倫 理 学 概 論	小 倉	Ⅲ・Ⅳ	西洋倫理思想史に即しながら倫理学の基本概念について考察する。
日本倫理思想史	源	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	徳川時代における合理的思惟、実学思想の生成・展開の過程、人間観の変遷を中心に講義。
西洋倫理思想史	尾 田	Ⅰ・Ⅱ	古代から中世を経て近代にいたる西洋倫理思想の流れを、現代という観点から概観する。 テキスト「西洋倫理思想史」(学文社)
倫理学特殊講義Ⅰ	尾 田	Ⅰ・Ⅱ	倫理学の方法について。
倫理学講義演習Ⅰ	勝 部	Ⅲ・Ⅳ	日本倫理思想史演習。前年にひきつづき大正時代の思想史、とくに白樺派、プロレタリア文学、教養主義哲学などを資料にとり扱う。
倫理学講義演習Ⅱ	尾 田	Ⅱ・Ⅲ	O. F. Bollnow: Wesen und Wandel der Tugenden.
東洋倫理思想史			中国文学科の中国文学概論(渡辺)をもって、本年度は、これにかえる。
美 学 概 論	杉 野	Ⅱ・Ⅲ	1)美学・芸術論史概観 2)美の本質 3)美的体験 4)美的対象 5)美の機能 おおむね以上の順で美学の主要問題について論述する。
美学美術史特殊講義Ⅰ	柳	Ⅲ・Ⅳ	中世絵画研究。古代および近代と異なる中世絵画独自の原理を、宗教感情、素材、様式の各面より総合的に把握しつつ史的に解明。
美学美術史特殊講義Ⅱ	柳	Ⅲ・Ⅳ	学生諸君の研究テーマに応じて特種の問題を扱う。
東洋美術史	町 田	Ⅲ・Ⅳ	日本上代彫刻史論。中国の影響を重視して、わが上代彫刻様式の歴史の変容を考察する。
美学美術史講義演習	柳	Ⅲ・Ⅵ	美学および美術史関係の古典的論文(未定)につき講義演習を行う。
社会哲学概論	井 上	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	Ⅰ. 秩序について 自然法則と社会規範 Ⅱ. 体制について 法体系と社会体制

科 目	教 官	学 年	内 容
社会哲学特講	入 江	Ⅲ・Ⅳ前	戦後日本社会史、戦後の歴史的事件を、実際に報道に当たってきたものの実感を土台にして社会史にしようとする試みです。戦後日本の総括をしたいものです。
法 社 会 学	渡 辺	Ⅲ・Ⅳ	農業問題・労働問題・憲法・安保問題、教育問題(大学問題)等の法社会学的分析 (参考書) 渡辺:日本の社会と法(日本評論社) 渡辺:日本における民主主義の状況(岩波書店)
経 済 史	安 藤	Ⅲ・Ⅳ	日本資本主義の成立・発展の過程を歴史的に解明し、かつ日本経済の現状を分析する。テキスト・安藤良雄著(現代日本経済史講義) 東大出版会刊 ¥280

史 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
史 学 概 論	尾 鍋	Ⅱ	神山四郎：歴史入門（講談社）¥250 および 林健太郎：史学概論（有斐閣）¥450
日 本 史 概 説	青 木	Ⅰ	古代・中世・近世の社会構造と支配体制。
日本史史料講読	大 口	Ⅱ 前	近世の古文書講読。
日本史史料講読	中村一	Ⅱ 後	テキストに「折焚く柴の記」（岩波文庫）を使用、これを政治・社会史の史料としての側面から講読・検討する。
日本史特講 A	青 木	Ⅲ・Ⅳ	日本古代史の諸問題。
日本史特講 B	大 口	Ⅲ・Ⅳ	日本近世史の諸問題。
日本史特講 C	坂 野	Ⅲ・Ⅳ	伊藤家文書の研究。91巻タイプ印刷本からセレクトし、リコピーしたものを年代推定しながらこの時期の明治政治史を検討する。
日本史特講 D	松 永	Ⅲ・Ⅳ	自由民権思想の特質を明治憲法体制的思想（明治天皇制思想）との対比の中で明らかにする。後半は同様の観点で中江兆民の思想を論ずる。
日本史学演習 A	青 木	Ⅲ・Ⅳ	テキスト、続日本紀（昨年度の続き）
日本史学演習 B	大 口	Ⅲ・Ⅳ	テキスト、「宇下人言」（岩波文庫）の予定。
史 蹟 調 査			後期
考 古 学 通 論	甘 粕	Ⅲ	
西 洋 史 概 説	中村英	Ⅰ	西洋史の各時代の諸問題について、研究史的 背景から概観する。
西洋史史料講読	尾 鍋	Ⅱ 前	現代史を中心として各種の史料を広範に取扱 う。
西洋史史料講読	平 野	Ⅱ 後	テキスト：Richard Hofstadter, ed., Great Issues in American History, 2 vols. (Vintage Books)

科 目	教 官	学 年	内 容
西 洋 史 特 講 A	中村英	Ⅲ・Ⅳ	1867年のいわゆる第2次選挙法改正を中心と する政治・社会史の諸問題について論述する。
西 洋 史 特 講 B	平 野	Ⅲ・Ⅳ	アメリカ史の諸問題。農民運動史を中心にと りあげる。
西 洋 史 特 講 C	武 本	Ⅲ・Ⅳ	フランス絶対王政期の諸問題 (講義とフランス語テキストの講読・演習を行 う。テキストはそのつど指示する)
西洋史学演習 A	尾 鍋	Ⅲ・Ⅳ	Tom Kemp: Theories of Imperialism.
西洋史学演習 B	中村英	Ⅲ・Ⅳ	19世紀イギリスを中心とする政治・社会史の 諸問題について、課題を割り当て報告させる。
西洋史学演習 C	平 野	Ⅲ・Ⅳ	19世紀アメリカ史の二・三のトピックを選び、 文献を講読する。
東 洋 史 概 説	和 田	Ⅰ	東洋における諸民族とその社会の発達につい て、基礎的事実を説明する。
東洋史史料講読	松 村	Ⅱ	清代考証学の大家である趙翼の二十二史劄記 の明史関係の論文を講読する。
東 洋 史 特 講 A	市 古	Ⅲ・Ⅳ	中国共産党史研究。とくに抗日民族統一戦線 の結成について。
東 洋 史 特 講 B	和 田	Ⅲ・Ⅳ	東南アジア史上の諸問題。
東 洋 史 特 講 C	松 村	Ⅲ・Ⅳ	アジア大陸中央部にあって、海に出口をもた ない内陸アジアの歴史について考察する。
東洋史学演習 A	和 田	Ⅲ・Ⅳ	東南アジアに関する宋代史料の検討と分析。
東洋史学演習 B	市 古	Ⅲ・Ⅳ	近代中国における農民暴動について。



地理学科

科 目	教 官	学 年	内 容
地理学概論	松井	Ⅳ 前	3年間に学習した地理学的知識を、地域概念に即してまとめる。
地理学概論	浅井	Ⅳ 後	地理学発達史の中で、とくに現代の地理学の発生に関係の深い時代、国のそれらを出来るだけ系統的に探る。
日本地誌Ⅰ	正井	Ⅲ 前	日本の人文地理学的諸現象と人文地理学的地域区分について。
日本地誌Ⅰ	式	Ⅲ 後	日本の自然地理的性格およびその地域区分ならびに各地域の地方地誌的特性について論述する。
日本地誌Ⅱ	松井	Ⅲ 前	日本の農業地域。気候学Ⅰの修了者のみ。
経済地理学Ⅰ	松井	Ⅲ	日本及び世界の農業経済地理。
経済地理学Ⅱ	内藤	Ⅲ 前	主要業種別工業分布と工業地域形成のメカニズム
植物地理学	松井	Ⅲ・Ⅳ前	自然地域の構成要素としての植生。気候学Ⅰの修了者のみ。
地理学特講Ⅰ	松井	Ⅲ 前	那須野盆地の地誌。
地理学特講Ⅱ	竹内	Ⅲ 後	文化地理学に関する諸問題を、ヨーロッパを中心にしてのべる。技術、宗教、言語などを、地理学においてどう取り扱うべきかを考えた。
気候学Ⅰ	浅井	Ⅰ	下記テキストと実習・巡検により、気候の理論と気候誌を広く深く講じる。福井英一郎著：気候学概論（朝倉書店¥850見当。希望者一括購入）
気候学Ⅱ	福井		

科 目	教 官	学 年	内 容
陸水・海洋学	浅井	Ⅲ・Ⅳ後	海洋・湖沼・河川・地下水の理論と地誌。生産力・人間関係・人文地理学関係についても可及的に深く立入る。高等学校で使った地図帳必携。
外国地誌Ⅰ	浅井	Ⅱ	ヨーロッパの自然・社会・歴史を系統的に考察し、地域区分を行ってその中の地域差も明らかにする。スライド・プリントを多く利用。
外国地誌Ⅲ	松井	Ⅲ・Ⅳ	ソ連地誌。気候学Ⅰと地形学の修了者のみ。
自然地理学実験	浅井	Ⅲ 前	小気候学・地下水学・湖沼学などに関して、観測・実習・整理・記載の方法を、器械を用いて野外をも含めて体得させる。
自然地理学実験	浅海	Ⅲ 後	土壌の物理性と化学性に関する室内実験と、野外における土壌と地形の観察。
地質学	浅海	Ⅱ	岩石、鉱物、地質構造、地史に関する基礎的講義と実習。
土壌学	浅海	Ⅲ 前	土壌の生成と分布についての土壌地理学的考察。
地形学	式	Ⅱ	地形輪廻・地形分析・侵食地形・堆積地形・構造地形・地形発達史に関する理論と実例についての説明。
地図学講義演習	式	Ⅱ	地形図の作成、地形図を利用した計測及び作図、地形図の判読、地図投影等に関する講義及び実習。
写真地理学	式	Ⅲ 前	空中写真と写真測量の基礎知識及び空中写真の地理学的判読の方法及び実例の解説。多少の実習を伴う。
集落地理学	正井	Ⅱ 前	集落、特に村落の形態・機能・景観・発達過程に関する考察。

科 目	教 官	学 年	内 容
地理調査法Ⅰ	内 藤	Ⅲ 後	統計資料の整理, 地図の作成と論文講読。適宜, 巡検を行う。
地理調査法Ⅱ (自然地理学)	岡 崎	Ⅲ 前	文献および図上計測等による自然地理学的事象把握の方法。野外実習を伴う。
都市地理学	正 井	Ⅲ 後	都市の形態・機能・景観・発達過程に関する考察。実地調査を含む。
歴史地理学	別 技	Ⅲ・Ⅳ前	(1)歴史地理学の意義 (2)その具体的研究例を世界の各地域に求めて講述する。
交通地理学	有 末	Ⅲ 後	テキスト 有末武夫: 交通地理学(明玄書房) ¥680 ほかに現時点における交通問題の地理学的考察を加味する。
地理学演習Ⅱ	浅 井 浅 海 正 井	Ⅲ	自然地理学関係の内外の諸論文, 調査報文等の講読。
地理学演習Ⅲ	松 井 式 内 藤	Ⅲ	主に地誌学的な論文等の講読と紹介, 文献による地誌のまとめと発表等。
地理学演習Ⅳ	全 員	Ⅳ	主に卒業論文作成に関する指導と中間発表。

文学科 国文学国語学専攻

科 目	教 官	学 年	内 容
国語学概論	江湖山	Ⅰ	
国語法概説	市 川	Ⅲ	日本文法の概説。
上古・中古日本文学史	次 田	Ⅰ	大和時代から平安時代までの日本文学の発生と展開について概説する。
中世日本文学史	井 本	Ⅲ	中世日本文学史の概説。
近世日本文学史	堤	Ⅲ・Ⅳ	日本近世文学の史的展開を概観する。
近代日本文学史	浅 井	Ⅲ	近代における文学の史的展開をたどり, 主要作品・作家について解説する。
国文学講義講読Ⅰ	次 田	Ⅱ	「万葉集」巻3・巻4の講義講読。テキストは日本古典文学大系「万葉集」(一)(岩波書店) ¥800
国文学講義講読Ⅱ	関 根	Ⅱ	狭衣物語を講読しつつ, その関連において源氏物語を併せて講読し, 相互の関係及びそれぞれの作品の性格について講義する。
国文学講義講読Ⅳ	井 本	Ⅰ	蕪村の作品の講義講読。
国文学講義講読Ⅴ	浅 井	Ⅰ	夏目漱石研究。「三四郎」を中心に。テキストは学年初めに示す。
国文学講義演習Ⅰ	次 田	Ⅲ	記紀の歌謡の演習。テキストは日本古典文学大系「古代歌謡集」(岩波書店) ¥800
国文学講義演習Ⅱ	関 根	Ⅲ	勅撰集特に後拾遺集を対象とする。
国文学講義演習Ⅲ	井 本	Ⅱ	中世の紀行・連歌論等をテキストにした演習。
国文学講義演習Ⅳ	堤	Ⅲ	近世の文学作品をテキストにした演習

科 目	教 官	学 年	内 容
国文学講義演習V	浅井	Ⅲ	「若菜集」研究。その詩法の分析を中心に。テキストは新潮文庫「藤村詩集」(新潮社) ¥130
国文学特殊講義Ⅱ	石田	Ⅲ 前	源氏物語論。
国文学特殊講義Ⅱ	阿部	Ⅲ 後	中古文学作品と仏教 ——物語を中心として——
国文学特殊講義Ⅲ	松本	Ⅲ	御伽草子と呼ばれる室町期の物語について述べる。資料として、日本古典文学大系：御伽草子(岩波書店) ¥1000を随時使用する。
国文学特殊講義Ⅳ	堤	Ⅲ・Ⅳ	近世小説史上の諸問題を、とくに浮世草子を中心に考察する。
国文学特殊講義V	浅井	Ⅳ	近代文学形成期の諸問題。主として文学における近代の成立とその意味について考察する。
国文学特殊講義Ⅵ	田中	Ⅲ・Ⅳ	自然主義以後、主として大正期の文学について、二、三の問題点を中心に講述する。
国語学講義演習(その1)	江湖山	Ⅲ	上代日本語の特質と文芸作品表現の問題。(万葉集を資料にする。)
国語学講義演習(その2)	市川	Ⅱ	語彙の変遷を実証的に考察する。
国語学特殊講義(その1)	江湖山	Ⅲ・Ⅳ	上代特殊仮名遣研究史(継続講義)。——八木美穂の業績。
国語表現法	市川	Ⅱ	文体および文体論の諸問題を展望考察する。

文学科 中国文学中国語学専攻

科 目	教 官	学 年	内 容
中国文学概論	渡辺	Ⅰ	古代から近代に至る中国の思想と文学を概観し、その特質について考える。
中国文学講義講読	戸川	Ⅰ	文言文の初歩階程。
中国文学講読(新)	戸川	Ⅲ	班固の『漢書』列伝の一つを顔師古「集注」を通して読解する。
中国文学史Ⅰ	戸川	Ⅱ	古代より戦国・秦漢に及ぶ。
中国文学特講	渡辺	Ⅳ	楚辞入門 テキスト「楚辞章句」(王逸)
中国文学特講	頼	Ⅳ	毛詩正義(「七月」)(プリント)
中国文学特講	未定	Ⅲ・Ⅳ	未定。
中国文学演習	渡辺	Ⅱ	古代中国の学問・文芸における諸問題をたずねる。 使用文献——詩・論語など。
中国文学演習(旧)	渡辺	Ⅲ	戦国期知識人の生活・思想・感情などをたずねる。 使用文献——詩・書・孟子など。
中国文学演習(新)	戸川	Ⅳ	張溥『漢魏六朝百三家集題辭』
中国文学演習	丸山	Ⅲ・Ⅳ	「呐喊」を中心に“前期”魯迅の思想、彼の文学の性格を考え、余裕があれば“後期”にもふれる。最初に戦前の日本での魯迅研究史を述べる。
中国哲学概説	山井	Ⅲ	中国思想史に関する著書を一冊選んでそれを読みながら、主として宋代以後の思想を講義する。使用テキストは開講の際に指示する。
中国語学概説	頼	Ⅲ	「王観堂文選」
中国語学講義講読	頼	Ⅱ	「世説新語」言語篇
中国語学講義講読	中山	Ⅱ	清朝章回小説“紅樓夢”“儒林外史”を味読する。

科 目	教 官	学 年	内 容
中国語学演習	中山	Ⅲ	元典“西廂記”を講読する。
中国語学演習 A	中山	I	基礎中国語を学習する。 テキスト, “標準中国語”(書籍文物流通会) ¥300
中国語学演習 B	中山	I	平易な中国現代文を演習する。 テキスト “現代中国語読本” “光生館” ¥380
中国語学演習 C	頼	I	改訂・注音「林家鋪子」(茅盾)(光生館) ¥280
中国語学演習	黎波	Ⅱ	魯迅: 故郷 (人民文学出版社)
中国語学演習	黎波	Ⅳ	魯迅: 阿 Q 正伝 (人民文学出版社)

文学科 英文学英語学専攻

科 目	教 官	学 年	内 容
英文学演習 I	伊吹	I	Virginia Woolf A Room of One's own を読み, あわせて 英国女流作家について概説する。
英文学演習 II	外山	I	戯曲作品を読む。
英文学演習 III	野島	Ⅱ	Selections from Palgrave's Golden Treasury 福田陸太郎 (南雲堂) ¥400
英文学演習 IV	海老根	Ⅱ	Iris Murdoch: The Sandcastle (英潮社 Penguin Books)
英文学演習 V	伊吹	Ⅲ	Derek Hudson 編 English Critical Essays. Twentieth Century: Second Series の講読。
英文学演習 VI	野島	Ⅲ	Shakespeare: King Lear 市河・嶺編 (研 究社) ¥850
英文学演習 VII	外山	Ⅳ	文学批評, 論説を読む。
英文学演習 VIII	酒本	Ⅳ	Ralph Ellison: Invisible Man (英潮社ベン ギンブックス) ¥750
英語学概論	木原	Ⅱ・Ⅲ	Readings in English Linguistics (英宝社) ¥680 により英語学の全般を概観する。
英文学史 I	外山	Ⅱ	英文学史のアウトラインを現代まで紹介する。 テキスト併用。
英文学史 II	伊吹	Ⅲ	英国小説史-各時代より代表作をえらんで演 習をあわせ行う。
米文学史	酒本	Ⅱ・Ⅲ	とくに教科書は用いず, 講義を主とし, 何回 かはシンポジウム形式を併用する予定。
英文法演習	宮川	I	「現代英文法」: 宮部菊男 (南雲堂) ¥260

科 目	教 官	学 年	内 容
英 作 文 演 習	長谷川 羽 田	I	松山信直: English Through the Ear, (英宝社) ¥520 英語を聞き取る力をのばすと共に書き取, 要約練習を行う。
英 作 文 演 習 I	ルイス	II	テキストなし。
英 作 文 演 習 II	長谷川	III	川端康成の短篇小説の英訳, 手紙文の書き方卒論にそなえて英語論文の書き方を学びたい。MLA 論文の手引 (北星堂) ¥150 他。
英 語 音 声 学	鈴 木	I 前	黒田巍・鈴木進 A SHORTER COURSE IN ENGLISH PHONETICS —— (大阪教育図書) ¥300
米 文 学 特 講 I	海老根	III	ヘンリー・ジェイムズと小説。 Henry James: The Portrait of a Lady (英潮社) ¥840
英 文 学 特 講 II	野 島	III・IV	シェイクスピア道化論。
英 文 学 特 講 III	八 木	III・IV	Poe, Hawthorne, Henry James, Twain, Melville などの主要な作品を素材に, 19世紀アメリカ小説の全体像をつくりあげてみたい。
米 文 学 特 講	斎 藤	III・IV	ドライサー演習。Theodore Dreiser, An American Tragedy (A Signet Classic) を精読して, ドライサーの文学の特質を考察してみたい。
英 語 学 特 講 I	宮 川	III・IV	テキスト使用せず。
英 会 話 演 習 I	ルイス	I	English 900 vol. 4
英 会 話 演 習 II	ルイス	II	English 900 vol. 5

教育学科 教育学専攻

科 目	教 官	学 年	内 容
教 育 学 概 論	吉田昇	I	教育の目的, 制度, 内容, 方法にわたる教育学研究のための入門。
教 育 史 概 説	宮 坂	I	近代・現代の日本の教育の史的展開をあとづけつつ, 教育問題の歴史的認識につとめ, 教育学研究への関心をふかめるように配慮したい。
教 育 心 理 概 論	小 口	II	(1)教育心理学の領域と課題。 (2)教育心理学の再編の方向。
発 達 心 理 概 論	藤 永	I	発達心理学の基礎的概念, 方法などを理解することを通じて, 発達研究の意義, 特質などを明らかにしたい。
学 校 教 育 概 論	宮 田	II	学校教育の本質と問題 教官の本質と学校教育の本質 第1次新教育の成立と展開 学校教育の諸問題
教 育 行 政 概 論	森	II	教育にたいするコントロールを中心に現代教育行政の意義を, 具体的な教育行政上の諸問題を通じ概説する。比較研究を加味する。
教 育 社 会 学 概 論	麻 生	II・前	教育社会学の性格・対象・方法について述べ, 加えてマクロ・レベル, ミドル・レベル, ミクロ・レベルに属する教育問題をそれぞれ一つ選び教育社会学による分析を行なう。
教 育 社 会 学 概 論	麻 生	I~IV後	教育社会学の性格の対象の方法について述べ, 特に学校社会学のなかから重要問題を選び分析を加える。 テキスト 二関・姫岡共編“教育社会学”有斐閣 ¥400
教 育 方 法 概 論	宮 田	II	学習指導と生活指導の方法 学習指導法と生活指導法に関する私書文献10数冊を選んで講読する。

科 目	教 官	学 年	内 容
視聴覚教育概論	春 日	Ⅱ	視聴覚教育一般についての知識をうることをねらいとし、特に教室場面における視聴覚教材の利用の定義について心理学的に考察する。
教育心理特講	吉 田 章	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ前	認識とコミュニケーションの心理学的問題について考える。とくに、教授=学習の問題、モデルの問題を中心におく予定。
教育哲学特講	周 郷	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ前	現代の人間論—社会人類学、自然人類学、民族学などの成果を「総括」して、人間とは何かを、教育という相の下で展開する予定。
教育社会学特講 (高等教育体制論)	麻 生	Ⅲ・Ⅳ後	高等教育と人材養成の関係を中心とした、social-historicalなアプローチを行ない、わが国における高等教育体制の分析モデルを提示する。
教育学特講Ⅰ	柴 田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ前	教育内容現代化の基礎理論
教育学特講Ⅱ			未定。
心理学特講Ⅰ	春 日	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ後	対人知覚等を中心に人間行動全体のメカニズムを生理学的レベル及び社会学的レベルから考察、合せて人間の病態行動についても学ぶ。
心理学特講Ⅱ・Ⅲ (臨床心理学)	内 山	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	心理診断および心理治療の理論ならびに技法を中心として、最近の臨床心理学の諸問題を講述する。
心理学特講Ⅳ (応用心理学)	永 野	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ後	海外における幼児教育の試みを紹介し、認識の発達・レディネス・能力の形成などの問題について最近の研究にもとづいて検討する。
教育行政特講	持 田		
教育史特講			未定。
教育経営学	宮 田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ前	教育経営論の系譜と問題 学級経営論の系譜 学級づくり論の系譜 教育経営の諸問題

科 目	教 官	学 年	内 容
教育測定学	高 田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	教育測定のための基礎数学、基本的統計処理、相関分析。テキスト：新統計学シリーズ（培風館）1. 3. 4. ¥850, ¥680, ¥680
教育哲学講義演習	中 内	Ⅲ・Ⅳ	維新以後の日本に現われてくる学問や芸術が学校教育の内容との間に結ぶ関係の研究。テキスト「近代日本教育論集：教育内容論」Ⅰ・Ⅱ, (国土社)
心理学実験(Ⅰ)	吉田章	Ⅱ	心理学実験(Ⅱ)への導入として、心理テスト、尺度構成、統計的処理などの基本的手続きについて学習し、実習する。
教育史演習	宮 坂	Ⅲ・Ⅳ	学生の研究関心を大切にしたいし、発足時によく話しあいたい、いちおう英国教育史関係の文献を講読したい考えである。
教育心理演習	小 口	Ⅲ・Ⅳ	創造性の教育心理学的研究。
実験心理学演習	藤 永	Ⅲ・Ⅳ	心理学における基礎的な実験方法について実習を行い、実験の意味、実験器具の取り扱い、データ処理の方法などを習得する。
教育行政演習	森	Ⅲ・Ⅳ	現代世界教育の危機的状況を「断片的」にでなく、制度全体の立場から、教育のシステム・アナリスを試みたい。
視聴覚教育演習	春 日	Ⅲ・Ⅳ	視聴覚問題の基礎にあるコミュニケーション理論についての学習を中心とし、人間の学習行動、対人行動について学ぶ。

教育学科 体育学専攻

科 目	教 官	学 年	内 容
体育運動学総論	林	Ⅱ 前	キネシオロジーとボディ・ダイナミクスとの入門的解説から始める。
体育運動学総論	石 山	Ⅱ 後	体育学を構成する基礎的科学とそれらの関連についてのべる。
西洋体育史	林	Ⅳ 前	ヨーロッパにおける体育思想の発達について。
日本体育史	林	Ⅳ 後	近世日本体育史 ——主として学校体育——
女子体育論 (舞踊特講)	松本千	後	運動と表現
体育運動各論	林		テニス及びベースボール・タイプの球技とシーズン・スポーツの基本的技術の理論と実際。
体育運動各論	石 山	後	バスケットボール型球技の基礎技術およびチームプレイについて指導する。
体育運動各論	山 中		(Aコース) 舞踊表現のための基本的な動きの実技指導。 (Bコース) 舞踊創作の段階的な実技指導。
体育運動各論	西		体操の実技指導。
体育運動各論	梅 田		基本的泳法・初心者指導法・競泳・救助法・水泳の指導管理等の理論ならびに実技の指導。
体育心理学	石 山	ⅡⅢ(前)	体育活動における心理学問題をとりあげ、それらに関する一般的理論を説明する。
体育心理学特講	鈴木清	後	特に精神衛生に関連し、体育の心理学的特質や心理診断、心理療法などを中心とする。

体 目	教 官	学 年	内 容
体育心理学実験	石 山	Ⅲ 後	運動技能の学習に関する実験の操作・過程の観察・結果の処理、および調査・測定の手順・結果の処理について練習させる。
体育測定・評価	石 山	Ⅲ 前	体育における測定・評価の意義・目的・対象および操作についてのべる。
舞 踊 論	山 中	Ⅱ 前	舞踊史・舞踊美・舞踊の本質について講述する。
遊 戯 論	山 中	Ⅱ 後	遊戯の諸理論について講述し、本質論に及ぶ。
体育管理及び 施設	宇 土	Ⅲ・Ⅳ	体育管理の概念・構造と過程、および領域論について、それらの概要を解説。特に学校体育をめぐるは具体的に問題にしたい。
ソルフェージュ	外 山		舞踊、体操に必要な音楽のための理論とその応用実技、内容はソルフェージュ及び楽器(ピアノその他)による伴奏法、リズム論。
人 体 生 理 学	渡 辺	Ⅱ	生理学概論及び運動に直接関連する循環器系について講述する。教育生理学的な考えの下に、生理学と心理学の境界領域を講述する。
解 剖 学	伊 藤	Ⅱ	運動器の神経支配を中心に講義し、此の間適当な日を選んで人体解剖の実習又は見学を行い又小動物による神経の(切断による)変性実験も行います。
生 理 学 実 験	渡 辺	Ⅲ 後	現象として自分達の生体反応を学びそこから生体内の関係を知る。
女 子 身 体 論	渡 辺	Ⅲ 前	性差の生物学的基礎と社会的効用性について。

科 目	教 官	学 年	内 容
衛生学実習	松 本	Ⅲ 前	健康を保持増進するための知識・技術を十分に理解するために、環境衛生検査・水質検査・食品検査・細菌検査・各種施設の見学など行なう。
母子衛生	松 本	Ⅲ・Ⅳ前	公衆衛生の立場から母子の健康問題を考察する。
栄養学	鈴木継	Ⅲ・Ⅳ	栄養生理学の基礎的事項にもとづき、栄養改善の実際にあたっての問題点をとりあげる。
体育学演習	林	Ⅳ	Homo Rudens の講読。 体育学体系について論文研究。
体育史演習	林	Ⅳ	アメリカにおける女子大学体育発達史について。
公衆衛生学演習	松 本	Ⅲ	公衆衛生学における調査の理論と実際について演習する。

教育学科 音楽教育学専攻

科 目	教 官	学 年	内 容
和声法	美 田	Ⅰ	聴覚訓練及び鍵盤経験を通じて、音楽の基礎能力を養い、和声学、対位法の学習の準備をする。
和声法	美 田	Ⅱ	バッハの四声体コラールのスタイルに基づいて、18世紀の和声の基礎を、聴音、鍵盤経験、創作を通じて学習する。
和声学Ⅱ	美 田	Ⅲ	19世紀後半（主としてロマン派）の和声法をⅠ・Ⅱの方法によって学び、楽曲の和声的分析を行う。
対位法	萩 原	Ⅳ 前	Noël-Gallon, Marcel Bitsch 矢代秋雄訳：対位法 Traité de Contrepoint ￥750 音楽之友社刊。
ソルフェージュⅠ	藪 田	Ⅰ	基礎的発声法研究、ソルフェージュ。
ソルフェージュⅡ	藪 田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	合唱指導法及び編成法、合唱と語法との関係。
独 唱	藪 田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	発声法及び各国語による発語、古典浪漫、近代、現代歌曲及びアリア唱法。
合 唱	藪 田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	女声合唱におけるアンサンブルの技巧及び伴奏楽器との関係。
声 楽	小 泉	Ⅲ・Ⅳ	発声法及び各国語による発語、古典浪漫、近代歌曲及びアリア唱法。
ピ ア ノ	遠 見	Ⅰ	基礎奏法の研究。
ピ ア ノ	遠 見 坪 田 宮 島	Ⅱ	古典派音楽の研究。
ピ ア ノ	遠 見 坪 田 宮 島	Ⅲ	浪漫派音楽の研究。伴奏法の研究。



科 目	教 官	学 年	内 容
ピ ア ノ	遠見 坪田 宮 島	Ⅳ	近代及び現代音楽の研究。
音楽学演習	大 宮	Ⅲ 前	バロック音楽の様式研究と形式アナリゼ。 テキスト(1)シュテール音楽形式学(音楽之友社) (2)Grout: A History of Western Music.
音楽形式学	大 宮	Ⅲ 後	古典派時代の音楽の様式的研究とアナリゼ。
音楽美学	大 宮	Ⅳ 前	ロマン派時代の楽曲研究とアナリゼ方法論。 (テキストなし)
音楽美学特講	大 宮	Ⅳ 後	音楽美学概説(テキストなし)
音楽心理学	美 田	Ⅲ・Ⅳ	音楽的反応の心理学的研究。
指揮法	蘭 田	Ⅲ・Ⅳ	合唱指揮法、管弦楽との関係、管弦楽指揮法、 総譜演奏法。
作曲学	萩 原	Ⅳ 後	Richard Stöhr 屈啓成訳: 音楽形式学 Musikalische Formenlehre 音楽之反社刊。
西洋音楽史	大 宮	Ⅱ	古代からルネサンス期までのゼミナール。テ キスト (1)アインシュタイン音楽史(ダヴィ ド社) (2)Grout: A History of Western Music.
日本音楽史	小 島	Ⅱ・Ⅲ	日本伝統音楽の基本的な要素(音階、リズム etc.)の概説と、日本音楽史の通史。
音楽教育史Ⅰ	美 田	Ⅰ・Ⅱ	主として明治から現在に至るまでの音楽教育 発達史。
音楽教育学演習	美 田	Ⅳ	音楽教育に関する特殊問題を原書講読、実験 によって研究。
日本音楽教育史	山 住		

文教育学部 共通講座

科 目	教 官	学 年	内 容
社会学特講	入 江	前	戦後日本社会史。戦後の歴史的事件を、実際 に報道に当たってきたものの実感を土台にして 社会史にしようとする試みです。戦後日本の 総括をしたいものです。
社会学特講		後	
法社会学	渡 辺	Ⅲ・Ⅳ	農業問題、労働問題、憲法・安保問題、教育 問題(大学問題)等の法社会学的分析。(参 考書)渡辺:日本の社会と法(日本評論社)、 渡辺:日本における民主主義の状態(岩波書 店)(哲学科社会哲学専攻科目と共通。)
経済史	安 藤	Ⅲ・Ⅳ	日本資本主義の成立・発展の過程を歴史的に 解明し、かつ日本経済の現状を分析する。テ キスト・安藤良雄著(現代日本経済史講義) 東大出版会刊 ¥280
国際法・国際政治	筒 井	Ⅲ・Ⅳ	国際法を中心に進める。
経済理論・政策A	加 藤	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ前	戦後日本の経済構造と政策について。テキ ストは未定。
経済理論・政策B	岡 本	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ後	経済現象の本義が、自由な多数の個人の意思 の調整、ということにあることを解明してい るのが、近代経済学であることを講ずる。
言語学概論	梅 田	Ⅰ・Ⅱ	まず言語学の対象について考え言語学史を略 述した後、ことばの音形・文法・意味を扱う 言語科学の方法論上の諸問題につき概説する。
ギリシア語	田 中	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	(教科書) Wilding: Greek for Beginners (Faber & Faber) ¥510
ラテン語	田 中	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	(教科書) 樋口・藤井: 詳解ラテン文法(研究 社) ¥450

人文科学研究科 哲学専攻

教官名	授業科目	講義題目	講義要項
岩崎	哲学特論ⅠA		ヘーゲル研究, テキストはヘーゲルの Phänomenologie des Geistes の Vorrede の部分。
茅野	哲学特論ⅠB	歴史哲学研究	現代の歴史哲学。とくに歴史認識の問題。用書。W. H. Dray (ed.): Philosophical Analysis and History, Harper & Row, 1966. ¥1600 参考書。茅野良男: 歴史のみかた (紀国屋新書) ¥300
柏原	哲学特論Ⅱ	前期: 存在論研究 後期: 解釈学研究	前期: P. Tillich, Biblical Religion and the Search for Ultimate Reality. (続) 後期: R. Bultmann, Jesus Christ and Mythology.
茅野	哲学演習Ⅰ	現象学研究	フッサールからうけついで《事柄そのものへ!》という方法の具体化を, Martin Heidegger: Sein und Zeit によって追跡する。事実性の解釈学について。
石塚	哲学演習Ⅱ		I. Kant: Kritik der reinen Vernunft (続講)
秋田	倫理学特論Ⅰ		初期キリスト教思想。R. Bultmann: Das Urchristentum im Rahmen der antiken Religionen, (Primitive Christianity in its contemporary setting). W. Jaeger: Early Christianity and Greek Paideia.
勝部	倫理学演習Ⅰ	パートランド・ラッセル研究	B. ラッセル・Human Society in Ethics Politics の講読を中心しつつ, ラッセルの倫理思想, 政治思想を研究する。
尾田	倫理学演習Ⅱ	カント倫理学研究	Kant: Metaphysik der Sitten.
柳	美学・美術史特論Ⅰ		中世絵画研究。古代および近代と異なる中世絵画独自の原理を, 宗教感情, 素材, 様式の各面より総合的に把握しつつ史的に解明。

教官	授業科目	講義題目	講義要項
柳	美学・美術史特論Ⅱ		学生諸君の研究テーマに応じて諸種の問題を扱う。
柳	美学・美術史演習Ⅰ		美学および美術史関係の古典的論文(未定)につき講義演習を行う。
井上	社会哲学特論Ⅰ		社会秩序と法体系。

人文科学研究科 史学専攻

教官名	授業科目	講義題目	講義要項
青木	日本史学特論Ⅰ	令集解研究	前年度の続き
橋本	日本史学特論Ⅱ	院政期の諸問題	院政期の公家日記を講読して同期の諸事象を考究する。
中村一	日本史学演習Ⅰ		伊達千広著「大勢三転考」をテキストとし、輪講形式によって千広の史観を追求し、その日本史学史上の位置付けを行なう。
大口	日本史学演習Ⅱ	幕藩体制史の諸問題	
村上	東洋史学特論Ⅰ	元代社会経済史	元史食貨志および元典章戸部の條をテキストとして、元代の社会経済史の講義ならびに演習を併わせ行なう。
松井	東洋史学特論	インド近代史研究	イギリス支配下のインド社会の変容、帝国主義と民族主義などの問題について、聴講者の自主性に期待しつつ自由なゼミ形式で考えてゆきたい。
市古	東洋史学演習Ⅰ	太平天国史研究	太平天国が占領した地域をどのように統治したか。
和田	東洋史学演習Ⅱ		東南アジアにおける伝統的國家の構造と性格について、現地・中国・インド・西アジアなど諸史料によって考える。
中村英	西洋史学特論Ⅰ		19世紀イギリス政治・社会史の諸問題。
成瀬	西洋史学特論Ⅱ	ドイツ史	近世ドイツにおける官僚制的領域國家の形成過程と、とくにフランスのそれとの比較において考察する。
尾鍋	西洋史学演習Ⅰ	帝国主義の学説史	主として第2次世界大戦以後のものを取り扱う。
平野	西洋史学演習Ⅱ	アメリカの諸問題	アメリカ史の諸問題を比較史的に検討。

人文科学研究科 地理学専攻

教官名	授業科目	講義題目	講義要項
松井	微細地誌特論		小地域の地誌。
松井	地域特論		地域に関する基本的諸問題。
浅井	気候学特論		微気候から小気候（局地気候・都市気候など）に亘って気候要素と地面・水面との関連を、理論ならびに分布的・実験的・応用的に講じる。
浅海	地形誌特論	自然地理学演習	地形面と土壌型との関連性についての理論と実際例を、主として最近の研究の紹介をつうじて検討する。
式	地誌特論		自然地理学のおよび地形誌の地域区分に関する内外の実例の紹介及び文献の講読。
正井	人文地理学演習		都市の文化景観に関する考察。世界的視野に立って。
福井	気候誌特論		気候誌の諸問題について内外の論文を中心に比較論評する。
佐藤	地形学特論		自然環境形成要素としての地形の役割について。
別技	文化地理学特論		文化地理学の諸問題のうち、特に宗教、民俗などにつきアジア諸地域を中心として講述。
山鹿	地誌学演習	日本地誌	中央日本、特に首都圏の地誌研究の実例について講述し、あわせて現地調査を通して地誌調査の方法を考究させる。
式	野外調査		
浅海			
正井			

人文科学研究科

日本文学専攻

教官名	授業科目	講義題目	講義要項
次田	上古文学特論	古事記神話論考	古事記の高天の原系神話の成立とその背景について考察する。
関根	中古文学演習Ⅰ	栄花物語	作品の背後関係及び作品自体の解説を主眼とする。
関根	中古文学演習Ⅱ	難後拾遺	歌論書・歌書の性格・経信歌論の実態を探る。
井本	近古近世文学特論		連歌論・俳論を中心にした演習。
成瀬	明治大正文学特論		明治二十年代の文学思想について当時の文学観誌を通して明らかにする。
高田	明治大正文学演習	近代文学における自然・道徳・美	日本近代文学の流れに即して、日本における自然観、道徳観および美意識の性格・展開を解明したい。
市川	国語学特論	文章論	文章の構成論を展望し、問題点を考察する。
江湖山	国語学演習		上代日本語の特質の考察（万葉集を資料とする）。
富倉	中世文学特論		未定。

人文科学研究科

中国文学専攻

教官名	授業科目	講義科目	講義要項
中山	中国文学特論Ⅱ		中国現代語法上の諸問題 ——漢語教科書を中心として——
頼	中国語学特論Ⅱ		「説文解字段注」（藝文印書館版）一篇下の途中より。
渡辺	中国哲学特論	「老子」研究	この書の訓詁・解釈・成立・哲学史的意義などの諸問題について考察したい。
前野	中国文学演習Ⅰ	唐代小説	唐代小説の中から唐詩と関係の深いものを選び、詩文をあわせて読む。テキストはプリントによる。
戸川	中国文学演習Ⅱ		章炳麟『太炎文録』

人文科学研究科 英文学専攻

教官名	授業科目	講義題目	講義要項
伊 吹	英文学特論Ⅰ	英文学特論	Goseph Conrad の Nostromo を中心にしてその小説研究。
外 山	米文学特論Ⅱ	文学批評研究	文学研究の方法に中心をおいて、最近における英米の文学批評を概観する。テキストを併用の予定。
木 原	英語学特論Ⅰ		藤井・大坪編 Specimens of the English Verse from Beowulf to Shakespeare (青山書店) ¥600 を時代を遡りつつ読んで近世初期から O. E. までの英語を概観する。
野 島	英文学演習Ⅰ		L. Sterne: The Life and Opinions of Tristram Shandy (The World Classics, Oxford)
高 橋	英文学演習Ⅱ	十七世紀の英詩	Donne を中心とした形而上詩をヨーロッパ的、バロック的コンテクストを考えつつ読み、後期は Milton に進む。H. Gardner (ed.): The Metaphysical Poets (Penguin)
酒 本	米文学演習Ⅰ	アメリカ・ルネッサンスの文学(IV)Herman Melville(2)	Moby-Dick を第21章 “Going Aboard” から精読する。初めて参加する者は、それ以前の部分を通読しておくことが望ましい。版は完本であれば自由。
新 倉	米文学演習Ⅱ	アメリカ現代詩	現代における長篇詩の試みを、W. C. Williams の Paterson を手掛りに考えていく。Paterson I-V (New Directions)他。
木原 ルイス	特別研究	修士論文作成指導	日本語のエッセイの英訳を演習形式で指導。単位は修士論文とともに特別研究の中に含まれる。演習は木原の責任において行なうがルイス教官にも助言者として常に出席して頂く。

人文科学研究科 教育学専攻

教官名	授業科目	講義題目	講義要項
周 郷	教育学特論		シモース・ヴェイユ研究及び討論—教育を考えるヒントの探求。 テキスト S. Weil “Gravity and Grace” 講読。
小 口	教育心理学特論	学習心理学と人格心理学の統合	G. W. Allport の Pattern and Growth in Personality (邦訳あり) を中心にして、人格心理学を学習心理学で再編する試み。
吉田昇	教育方法学特論		教育方法の典型をとりあげ、その構造上の特質を解明する。
藤 永	発達心理学特論	言語発達と思考の形成	思考心理学の歴史のなかで、言語がどのような位置を占めてきたか。現代心理学のなかで言語研究は何を寄与しているかを論じたい。
宮 坂	教育史特論		イギリス成人教育史の研究。Brian Simon について講読する。
森	教育行政特論	大 学 論	大学の成立、発展の歴史をドイツの大学を中心に検討、現代の大学改革論に及ぶ。
宮 田	教育経営学演習	現代の教育経営学	昭和27年（日本教育ないし自立教育の時代）から昭和33年に至る教育経営論とその社会的思想的背景を究明する。
吉田章	教育心理学演習	文字学習の諸問題	日本文字—ひらがな、漢字—の教授=学習に関連する教育心理学的諸問題を、理論的に検討し、実証的に研究する。
沢 田	発達心理学演習		児童・青年の人格的発達に関する研究論文を外国雑誌から選び、それについて検討を行なうことを通して、主要な発達心理学研究法を比較。
中 野	視聴覚教育学特論		映像コミュニケーションの諸問題。

教官名	授業科目	講義題目	講 義 要 項
未 定	精神身体 医学演習		
未 定	学校衛生 演 習		

理 学 部



基礎教育科目

科 目	教 官	学 年	内 容
基礎数学 I A	亀 谷 沢 島	I	一変数の実関数の微積分に関する序編。
基礎数学 I B	小 川 小 山	I	微積分。
基礎数学 II	松 田	II	微分方程式，線形代数学。
基礎物理学 A	阿 阪	I・II前	質点，質点系，剛体，流体，弾性体の力学。 原島鮮：改稿 物理学 上巻 学術図書出版 社 ¥590
基礎物理学 B	橋 瓜	I・II前	物理学の波動，音，光，熱に関する基本的事 項。原島鮮：改稿 物理学 上巻・下巻 学術図書出版社
基礎物理学 C	石 黒	I・II後	電磁気学。 原島鮮：改稿 物理学 下巻 学術図書出版 社
基礎物理学 D	下 瀬	I・II後	光及び電子の粒子性，波動性，電子の量子力 学，原子核。 教科書は基礎物理学 C と同じ。
基礎化学 A	曾 根	I 前	化学学習の最も基礎をなす，気体，液体，固 体，溶液の性質を支配する諸法則について解 説。
基礎化学 B	細 矢	I 前	化学の基礎としての波動力学の入門，それ による原子分子の構造とそれらの間にはたらく 力に関する講義。
基礎化学 C	立 花	I 後	化学の基礎としての古典熱力学の入門とそれ による化学系における平衡問題の解析。
基礎化学 D	塩 田	I 後	有機化学の基礎。
基礎動物学 I	荒 木	I 後	動物について生体の情報物質概観。

科 目	教 官	学 年	内 容
基礎動物学Ⅱ	柳 田	Ⅱ 後	生理学的動物学への導入。体系の全貌への鳥瞰を試みるいっぽう、研究作業上の諸特徴をとらえていきたい。
基礎植物学Ⅰ	津 山	Ⅰ 前	植物の系統、進化、種分化の問題。
基礎植物学Ⅱ	太 田	Ⅱ 前 理 家	タンパク質・核酸についての概論、細胞の構造と機能の関連。
基礎物理学実験	伊 藤 森 本	Ⅱ前家	基本的な物理実験。

理学部共通科目

科 目	教 官	学 年	内 容
天 文 学	藤 田	Ⅲ 後	天文学一般、特に太陽系及び銀河系について
地 球 物 理 学	高 野	Ⅲ 後	地震とそれに関する諸現象。
気 象 学		Ⅲ 前	
超 高 層 物 理 学	石 井	Ⅲ 前	成層圏上部から惑星間空間に到る物理。
電 子 計 算 機	有 山	I~IV前	電子計算機概説, software 概説, assembler 言語によるプログラミングの初歩など。
物理学基礎実験	阿 阪 伊 藤	I (物(化)生)	基本的な物理実験。
化学基礎実験	岡 嶋	I(物)生	化学の基礎となる実験。仁田勇編：一般化学実験 ¥580 共立社
生物学基礎実験	団	I物・化	生物学の基礎実験法, 実験技術。 (化学科は7月上旬, 物理学科は9月上旬に行なう。)



数 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
集 合 論	小 山	I 前	集合論の初歩。
同 演習	小 山	I 前	
微 積 分 学 I	高 村	I	極限、微分、積分。弥永・亀谷・田村： 微分積分学 掌華房
同 演習	高 村	I	
微 積 分 学 II	伊 関	II	多変数の微積分の基本事項。吉田洋一： 微分積分学 (改訂版) ¥750 培風館
同 演習	前 田	II	
代 数 学 I	稲 葉	I	複素数、多項式、行列式 (講義、演習を隔週で行なう。)
同 演習	稲 葉	I	
代 数 学 II	林 田	II	整数論および群論の初歩。 (講義、演習を隔週で行なう。)
同 演習	林 田	II	
代 数 学 III	小 山	III 前	群、環、イデアル等抽象代数学入門。
同 演習	小 山	III 前	
幾 何 学 I	立 花	I	奥川光太郎「線形代数学入門」朝倉書店 ¥650 (講義、演習を隔週で行なう。)
同 演習	立 花	I	
幾 何 学 II	小 川	II	線形代数学、2次形式論。(幾何学Iの続き) (講義、演習を隔週で行なう。)
同 演習	小 川	II	
位 相 空 間 論	亀 谷	II	位相空間の基本的概念。 (講義、演習を隔週で行なう。)
同 演習	渡 辺		
関 数 論 I・II	竜 沢	III 前・後	正則函数と Cauchy の定理 調和函数と Green の定理 等角写像、Dirichlet 問題 etc 能代清：初等函数論 培風館
関 数 論 I 演習	渡 辺	III 前	関数論Iの演習。

科 目	教 官	学 年	内 容	
微分方程式論 I	松 田	III	微分方程式の初等的解法。	
同 演習	松 田	III	(講義、演習を隔週で行なう。)	
数 学 講 究	亀 谷	IV	稲 葉 伊 関 立 花 林 田 松 田 高 村 小 川	
統 計 学	魚 返	I 前		一般教育としての統計学。P. G. ホーエル著、 浅井、村上、共訳：初等統計学 ¥620 培風館
数 理 統 計 学	魚 返	III IV 後		
実 関 数 論	伊 関	III IV 前		測度論・積分論の基本事項。
位 相 幾 何 学	小 川	III 後		ホモロジー論及びホモトピー論。
微 分 幾 何 学	立 花	III IV 前	曲面の幾何学。	
代 数 学 B	林 田	III IV 前	多元環の理論。	
確 率 論	本 尾	III 後	確率の概念・極限定理・簡単な確率過程。	
応 用 解 析 学	沢 島	III 後		
数学特殊講義 I	伊 関	III IV 後	実関数論の続き。	
数学特殊講義 II	岩 村	III IV 前	バナッハ空間の基本的事項。竹之内脩：函数 解析 ¥780 朝倉書店	
数学特殊講義 III	吹 田	III IV 前	リーマン面の理論。	
数学特殊講義 V	服 部	III IV 後		
数学特殊講義 IV	三 井	III 後	加法的数論入門。	

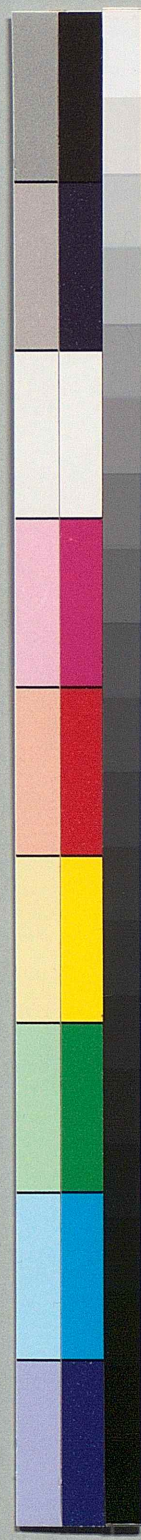
理学研究科 (数学専攻)

科目	教官	学年	内容
古典解析学特論 I	吹田	前	リーマン面の理論
同 II			
同 III			
同 IV			
同 V			
同 VI			
同 VII			
同 VIII			
近代解析学特論 I	岩村	前	バナッハ空間の基本的事項。竹之内修：函数解析 ￥780 朝倉書店
同 II			
同 III			

科目	教官	学年	内容
近代解析学特論 IV			
同 V			
同 VI			
同 VII			
同 VIII			
代数学特論 I	服部	後	
同 II	三井	後	加法的数論入門
同 III			
同 IV			
同 V			

科 目	教 官	学 年	内 容
代数学特論 VI			
VII	VI		
同	VIII		
幾何学特論 I			
同	II		
同	III		
同	IV		
同	V		
同	VI		
同	VII		
同	VIII		

科 目	教 官	学 年	内 容
応用数学特論 I			
同	II		
同	III		
同	IV		
同	V		
同	VI		
同	VII		
同	VIII		
数 学 講 究	伊 松 谷 島 葉 田 花 川 村 内 山 松 亀 沢 稲 林 立 小 高 竹 小		



※のついた科目の履修には講義内容の欄に◎をつけてある科目を修得しておくことが望ましい。

物理学科

科目	教官	学年	内容
力学 I	石黒	I	質点・質点系・剛体の力学・解析力学。 原島鮮：力学 裳華房
※力学 II	阿阪	II 前	連続物体の力学、弾性論、流体力学概要。 角谷典彦：連続体力学（共立物理講座7） 共立出版株式会社 ￥750 ◎力学 I
電磁気学及び光学 I	伊藤	II	静電気、静磁気及び定常電流、電気と磁気との関係、電磁波の諸性質。
電磁気学及び光学 II	中村	III 前	波動光学による干渉、回折論、光学機械の分解能等。
熱学及び熱力学	橋爪	III 前	熱力学の基礎原理とその簡単な応用。気体運動論初歩。
※量子力学	清水	III	シュレーンジャー方程式。マトリックス力学。摂動論。衝突論。 ◎（力学 I、電磁気学及び光学 I、物理数学）
※気体論及び統計力学	橋爪	III 後	平衡状態の統計力学の基礎と気体等への応用。 ◎「熱学及び熱力学」
原子核物理学	藤田	IV 前	核物理学の全般を概説する。
物理数学	亀井	II	関数論の概要、Fourier 級数、Laplace変換常微分方程式の解法、特殊関数。
物理学実験 I	坂上 加藤	II	基礎量の測定法、基礎的機械の使用法を習熟体得させると共に、実験結果の取扱法及び基礎的な実験操作法の練習。
※物理学実験 II	田中 大島 所	III	物理学実験 I の後をうけて、やや高度な基本的な物理実験を実習する。◎物理学実験 I
物理学輪講	下瀬 岩田	III 前・後	Mathews: Quantum Mechanics.

科目	教官	学年	内容
特別研究	全教官		
物理実験学	坂上	II 後 III 前	実験結果整理法、基礎量の測定法、基礎的装置使用法、実験操作工作法の基礎。
物理数学演習 I	石黒 佐藤	I	物理学の学習に必要な微積分、初等的微分方程式の解法の演習。小松、早川編：微積分学朝倉書店
物理数学演習 II	亀井	II	物理数学の講義に関連した事項の演習。
力学演習	石黒 佐藤	I	ベクトル代数、ベクトル解析、力学 I に関する演習。
量子力学演習	清水	III	量子力学の講義と並行し、問題を考究する。
※流体力学	阿阪	II 後	完全流体、粘性流体の力学、境界層、乱流、高速気流。 角谷典彦：連続体力学（前掲）◎力学 II
電子工学	田中	III 前	電子管（主として真空管）および回路の基礎。エレクトロニクスの基礎 ￥780 裳華房。
量子力学特論	品田	IV 前	多電子問題、第 2 電子化、輻射の理論。
数理物理学	下瀬	III 後	微分方程式の境界値問題、グリーン関数、群論、積分方程式論。
原子物理学	田中	II 後	黒体輻射・前期量子論・原子・スペクトル。
物性論 I	森垣	IV 前	固体物性の基礎、イオン結晶、半導体の物性。
物性論 II	森垣	IV 後	電気伝導、磁性、極低温における諸現象。
原子核特論	藤田	VI 後	トピックスを選び詳論する。
生物物理学			
天文学	藤田	III 後	
地球物理学	高野	III 後	地震とそれに関する諸現象。
気象学		III 前	

科 目	教 官	学 年	内 容
超高層物理学	石 井	Ⅲ 前	成層圏上部から惑星間空間に到る物理。
電子計算機	有 山	I~Ⅳ前	電子計算機概説, software 概説, assembler 言語によるプログラミングの初歩など。

理学研究科 (物理学専攻)

科 目	教 官	学 年	内 容
流体物理学特論Ⅰ	阿 阪	前	粘性流体の力学, 境界層。
同	Ⅱ 坂 上		大気乱流論および大気拡散論について述べる。
同	Ⅲ		同
同	Ⅳ		同
相 対 論			同
数理物理学特論			同
計測学特論Ⅰ			同
同	Ⅱ		同
電磁気学特論			同
量子エレクトロニクス			同
分子物理学Ⅰ			同

科 目	教 官	学 年	内 容
分子物理学 II			
同 III			
同 IV			
統計力学特論 I			
同 II			
半 導 体 論			
素 粒 子 論 I			
同 II			
同 III			
同 IV			
核 物 理 学 I			

科 目	教 官	学 年	内 容
核 物 理 学 II			
同 III			
同 IV			
固体物理学 I			
同 II			
同 III			
同 IV			
磁 性 体 論 I			
同 II			
低温物理学 I			
同 II			
物理学特別講義 I			



科 目	教 官	学 年	内 容
物理学特別講義II			
同	III		
同	IV		
同	V		
同	VI		
同	VII		
同	VIII		
同	IX		
同	X		
特別研究	阿坂 阪上 石下 黒瀬 岩伊 田 橋藤 爪 田中		

※のついた科目の履修には講義内容の欄に◎をつけてある科目を修得しておくことが望ましい。

化 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
基本化学実験	細 矢	I 前	化学の基礎となる実験。 仁田勇編：一般化学実験 ¥580 共立社
※物理化学 I	立 花	II	化学系の熱力学的関数に対する分子論的な解析、パーロー：物理化学、東京化学同人 ◎基礎化学C
分析化学 I	中 西	II 前	分析化学一般の基礎的事項。
※有機化学 I	塩 田	II	有機化学概説、主として鎖状化合物・脂環式化合物を扱う。◎基礎化学D
無機化学 I	曾 根	III	主要な無機化合物の構造と、それらの化学的・物理的性質、元素の周期律との関係を、おもに共有化合物について概説。斎藤一夫：無機化合物 ¥750 裳華房
※生物化学 I	阿 武	II 後 III 前	炭水化物、脂質および核酸の化学と代謝。コーン・スタンプ：生化学 東京化学同人 ◎〔有機化学 I〕
※構造化学	細 矢	III 後	量子化学の基礎、原子価結合法と分子軌道法、分子の種々の励起状態についての理論的実験的研究に関する講義。◎基礎化学B クールソン：化学結合論 ¥1300 岩波
無機化学実験	曾 根 福 田	I 後	簡単な無機化合物の合成と、それらの反応の観察。
無機分析化学実験	中 西 藤 枝	II 前	主として無機物質を取扱から諸操作と基本的化学分析法。
※物理化学実験	立 花 佐 野 袋 井	III 前	物理化学の基礎実験技術を修得しそれによって物理化学 I, II の講義内容を実験的な面から理解する。鮫島実三郎、物理化学実験法、裳華房 ◎物理化学 I, II (前半)

科 目	教 官	学 年	内 容
有機化学実験	塩田 前田 石毛	Ⅱ	合成の基本実験と有機定性分析。 L. F. Fieser: Organic Experiments. 丸善 畑・渡辺: 基礎有機化学実験 丸善
生物化学実験	阿武 瀬野 川合	Ⅲ 後	生体物質および酵素についての基礎的実験。
化学演習	全教官	Ⅳ	外国語の化学文献の講読。
特別研究	全教官	Ⅳ	
分析化学Ⅱ	中西	Ⅱ 後	定量分析および簡単な機器分析の講義。
※物理化学Ⅱ	佐野	Ⅱ 後 Ⅲ 前	物理化学Ⅰにつづき、原子・分子論および量子力学的観点からの化学の体系化。パロー: 物理化学 東京化学同人, ◎基礎化学C
※有機化学Ⅱ	前田	Ⅲ	環状化合物の化学, 有機化学Ⅰの続き, R. Q. Brewster: Organic Chemistry (日本ブレンティス・ホール 翻刻版) ¥1500 ◎有機化学第Ⅰ
無機化学Ⅱ	曾根	Ⅳ 前	無機化学Ⅰと同じ主題を, おもにイオンの化合物について概説, 教科書はⅠと同じ。
生物化学Ⅱ	瀬野	Ⅲ	アミノ酸, タンパク質の化学と代謝および酵素概説。 コーン・スタンプ: 生化学 東京化学同人
放射化学	池田	Ⅲ・Ⅳ前	放射性核種と放射性壊変ならびにそれに関連する核化学的事項を解説し, 放射化学の基礎と応用について述べる。
機器分析	中西	Ⅲ 前	機器による化学現象の計測についての解説。
錯塩化学	中原	Ⅲ・Ⅳ後	配位立体化学・配位子場理論。

科 目	教 官	学 年	内 容
有機化学特論	柿沢	Ⅲ・Ⅳ後	有機化合物の構造を決定するための赤外, 紫外, 核磁気共鳴, 質量スペクトルなどの利用法を定性的に解説。Dyer: 「有機化合物へのスペクトルの応用」 ¥550 東京化学同人
構造化学特論	京極	Ⅲ・Ⅳ後	振動, 回転スペクトルの理論。赤外線吸収スペクトル, ラマン効果の測定法と応用。
結晶化学	千原	Ⅲ・Ⅳ前	結晶および液体の物性化学, 特に純物質の状態論と構造論。
生物物理化学	野田	Ⅲ 後	生体高分子の構造と機能の關係の物理化学的基礎。Martin 著 野田訳 生物物理化学, ¥1300 東京化学同人



理学研究科 (化学専攻)

科 目	教 官	学 年	内 容
物性物理化学			
反応物理化学			
構造物理化学			
物理化学特論 I			
同 II	国 井		情報科学の基礎と応用。物質、エネルギーと並んで重要な量である情報について、その初めから考察し、多方面への応用を論ずる。コンピュータとシステム科学の序論も含む。
物理化学演習 I			
同 II			
無機化学特論 I			
同 II			
同 III			
同 IV			

科 目	教 官	学 年	内 容
無機化学演習 I			
同 II			
無機構造化学			
天然物有機化学			
有機合成化学	野 村 前		有機化合物の合成計画法について説明する。
有機化学特論 I			
同 II			
同 III			
有機化学演習 I			
同 II			
生物化学特論 I			
同 II	瀬 野		

科 目	教 官	学 年	内 容
生物化学特論Ⅲ			
同 Ⅳ			
生物化学演習Ⅰ			
同 Ⅱ	瀬野 阿武		
物質代謝特論	安藤		蛋白質の生合成の機構と調節について。 今堀和友等編：続現代の生化学(上) ¥1100 化学同人社
分析化学特論Ⅰ			
同 Ⅱ			
同 Ⅲ			
同 Ⅳ			
分析化学演習Ⅰ			
同 Ⅱ			
機器分析特論			

科 目	教 官	学 年	内 容
特別研究	立花 佐野 曾根 細矢 塩田 前田 阿武 瀬野 西嶋 中岡		



生物学科

科目	教官	学年	内容
植物系統学	津山	I 後	主要な群について、その形態を学び、系統上の位置づけ。
細胞生物学 I	米田	II 後	
細胞生物学 II	太田	III 前	タンパク質・核酸についての概論。脂胞の構造と機能の関連。(基礎植物学 II, 理・家と併用)
発生学	団	III	
動物生理学	柳田	II 後	動物における各個別の生理機能および特に生理協同機作につき、一般生理学的な基本原理から比較生理学的多様性への発展を展望する。
植物生理学 I	清水	I 前	植物体における物質の生合成についての概説。
植物生理学 II	塚本	III 後	
動物生理化学	荒木	III 前	動物生理化学通論。
遺伝学総論	石和	II 後	一般遺伝学, 分子遺伝学, 統計及び進化遺伝学にわたり, 基本的な問題を論議し, 生命現象を解析する上に, 遺伝学がどのように貢献しているかを考える。使用テキストは未定。
遺伝学各論	新関	III 後	個体発生と遺伝子の働きについて。
基本生物学実習	米田	I 後	
生物学演習	全教官	IV	
特別研究	全教官	IV	
動物系統学実習	団	I 前	

科目	教官	学年	内容
植物系統学実習	津山	I 前	主要群の栄養及び生殖に関する器管の構造。
細胞生物学 I 実習	米田	II 後	
細胞生物学 II 実習	太田	III 前	細胞の構造と機能についての基礎的な実験。
発生学実習	団	III	脊椎動物および無脊椎動物を材料とした正常発生の観察。
動物生理学実習	柳田	III 前	毎週1題ずつ小さな練習研究課題を割り当て, 生理学的な研究様式と基本手技との心得を体得できるように図る。
植物生理学 I 実習	清水	II 前	
植物生理学 II 実習	塚本	III 後	
動物生理化学実習	荒木	III 後	生理化学の基本実験。
遺伝学総論実習	石和	II 後	実験科学としての遺伝学を, 自分の実験結果を通して学ぶ事を主眼とする。主としてショウジョウバエを使い, データの基礎的な統計処理法にも留意する。
遺伝学各論実習	新関	III 後 IV 前	
動物系統学臨海実習	米田	II 前	
植物系統学臨海実習	津山	II 前	
動物生理学臨海実習	柳田	IV 前	各種の海産動物を材料とする機能解剖学的・ないし比較または一般生理学的観察や練習実験。一連の小主題からなるプログラム。

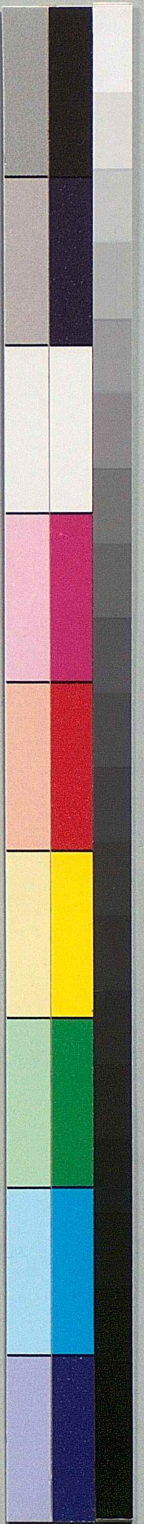
科 目	教 官	学 年	内 容
発生学臨海実習	団	Ⅲ	臨海実験所において、海産無脊椎動物を材料として発生の観察や実験を行う。
植物学野外実習	津山	I～IV	日帰り、または3泊で、植物の野外における観察・採集をする。
動物形態学特別講義I	加藤	I・II前	動物系統分類学を中心として形態を論ずる。
動物生理学特別講義I	丘	Ⅲ 前	動物心理学の目的・方法・歴史などを概説し、その中で現在までの主要な研究結果につき説明する。
植物形態学特別講義I	原	Ⅱ 後	高等植物の生長・分化について、とくに、根の生長点、茎の生長点、形成層の分化、葉の発生・発達を中心とした組織形成。
植物生理学特別講義I	柴岡	Ⅱ 後	植物の生長・分化に関する生理学。
遺伝学特別講義I	田口	Ⅲ 後	放射線生物学の基礎的諸現象および諸法則と生物実験に利用するトレーサーとしてのRIの使用法。
生態学特別講義I	浦本	Ⅲ 後	生態学とはなにか、についてややくわしく論じ、種・群集などについて述べた後、主として個体群生態学について話す。
生物学特別講義I		IV 前	

理学研究科 (生物学専攻)

科 目	教 官	学 年	内 容
動物系統学特論			
細胞生物学特論I	米田		
細胞生物学特論II	太田		
動物発生学特論	団		
動物生理学特論	柳田		
動物生理化学特論	荒木		
植物系統学特論	津山		
植物生理学特論	清水		
酵素化学	塚本		
遺伝学特論	石和		
細胞遺伝学特論	新関		

科 目	教 官	学 年	内 容
微生物生理学			
生態学特論			
放射線生物学特論			
特別研究	荒柳米田 津山本水 塚本関和 清新石		

家 政 学 部



児 童 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
児 童 学 入 門	津 守 他 全教官	I 前	児童学の各領域について、児童学科全教官が参加し、解説を行い、児童学の全体が展望できるようにする。
児 童 学 演 習 I	松 村	I 通	児童学関係文献のゼミ。集団討議による研究。集団活動（集団運営）の体験。
児 童 発 達	津 守 平 井 浅 見 田 口	I 後 II 通	1年後期、児童発達総論、発達原理、発達過程、身体発達 2年前期、生物と人間、知覚の発達言語の発達、学習、社会集団の発達 2年後期、認知理論、パーソナリティの発達以上の諸問題について、専攻教官が担当し、講義を行い、専門的読書を補助とし児童発達に熟知する。
児 童 社 会	松 村	I 後 II 通	児童学の展望。児童福祉の諸問題。児童集団（Group Dynamics）、児童社会（階級、世代）、児童文化（文化財、比較）、児童環境（人間工学）
児 童 学 実 験 演 習	浅 見 平 井	I 後	前半は実験法全般の基礎手続きの概説。後半から各論に入る。まず身体保健に関する実験演習として身体基礎測を、機能測を、育児の基礎検査等。
児 童 学 実 験 演 習	浅 見 松 村	II 後	前半は精神測定法・調査法に関する理論、作成法、技法の基礎的訓練。後半は児童集団に関する実験演習ーロールプレイ・グループダイナミックス等。
児 童 学 実 験 演 習	浅 見 田 口	II 前	前半は児童心理に関する実験演習ー主として心理学基礎実験の訓練。後半は言語発達に関する実験演習に入る。
保 育 実 習	本 田	II 通	
保 育 学 演 習	本 田	II 通	
児 童 学 演 習 II (自主ゼミ)	全教官	II～IV	自発的な参加者集団で、指導教官・ゼミのテーマを決めて自主的に運営する。

科 目	教 官	学 年	内 容
児童学総合研究I	全教官	Ⅳ 後	児童学科全教官が参加し、演習、シンポジウム、特別講義などにより、児童学と総合的に研究し、卒業前に児童学について再認識する。
児童哲学	周 郷	児童学科中心	子供の成長と文化のかかわり合い。成長とは何か、とともに社会変化の中での位置づけ。 テキスト「レヴィ=ストロースとの対話」など。
児童福祉 (特殊児童の問題)	辻 村	Ⅲ 通	盲・聾・精神薄弱・肢体不自由等のいわゆる特殊児童のもつニーズと、これに応じた児童福祉、特殊教育のサービスのについてのべる。
児童臨床学	松 村	Ⅲ 通	(1)児童臨床学の理論・技法・実践。(2)臨床心理学の諸問題。(3)Action Counseling, Psychodrama, Group Psychotherapy, ほか。
児童精神医学	平 井	Ⅲ 通	脳神経の発達、養育態度の影響から起きる行動並びにその異常と、内因性の発達障害や疾病とについて、治療教育的立場から講述する。
言語障害治療学	田 口	Ⅲ 通	ことばの発達異常・発音異常・どもりおよび口蓋裂・脳性まひ・難聴などに伴う「言語障害」をもつ子どもの診断と指導の理論と方法。
比較発達学	浅 見	Ⅲ 通	系統発達および霊長類学的な観点からひろく発達の現象をとりあげ比較考察を行う。動物を用いた実験演習および内外の文献演習も加え、人類の特殊性について検証する。
保育学Ⅰ	津 守	Ⅲ 通	とくに発達理論を基礎にした保育学の研究を演習的に行う。幼稚園、ナースリー、異常児の保育などの保育法を具体的課題とする。
保育学Ⅱ	本 田	Ⅳ 通	
児童学演習Ⅲ	未 定	Ⅳ 通	

科 目	教 官	学 年	内 容
臨床基礎実習	松 村 田 口 平 井 津 守	Ⅳ 通	臨床諸分野について、基礎実習と行う。
児童文化Ⅱ (児童音楽)	加 勢	Ⅱ・Ⅲ	幼児・児童の発達の一側面としての音楽—音楽面の発達、音楽文化、環境、教材、技法、治療などについて研究する。理論及び実技を含む。
児童文化Ⅲ (児童図工)	林	Ⅱ・Ⅲ	児童文化財としての絵画造形。その種類と児童の生活(活動)の中でもつ特色。理論と実技(演習)を含む。
保育技術	堀 合 村 井	Ⅲ	集団保育活動における保育者の指導技法について、具体的な教材(音楽リズム・絵画造形)を媒介にした具体的な場面に即してすすめる。
児童統計学	某	Ⅱ 後	
家庭教育	森 田	Ⅱ 後	
社会福祉	某	Ⅱ 後	
集団力学	某	Ⅱ 前	
脳神経生理学	時 実	Ⅲ	脳神経生理の概要及び発育期における特徴について述べ、それが子どもの精神発達及び行動といかに関係するかについて論ずる。
精神検査心理療法	市 村	Ⅱ 後	
小児病学	有 馬	Ⅱ	子どもにおける「病気」の位置づけ。病気の種類。病気の子どもをとりまく問題と医者との役割、病児の保育・教育上留意すべき医学的観点について述べる。

科 目	教 官	学 年	内 容
小児 栄 養 学	荒 井	Ⅱ	小児の生活領域の中で生理的生活と関連の深い「食事」その栄養摂取に関する指導。および、その栄養摂取に関する指導。および、小児に必要な栄養の理論と実際。
児童学特殊講義「保育哲学」	周 郷	Ⅱ 前	
児童総合研究Ⅱ	全教官	Ⅳ	内容主旨は、児童学総合研究Ⅰに同じ。
児童学特殊講義	西 平	Ⅲ	青年の生活感情・自我・対人関係・世界観の諸問題を現象的・精神的・社会心理学的の方法により青年の生活空間という立場から検討する。

食 物 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
栄 養 化 学	稲 垣	Ⅲ 通	栄養素の化学、生理的意義、新陳代謝および栄養要求量などについて、ビタミンについてはその歴史、構造、性状、生理作用、所在等について。
栄 養 化 学 実 験	荒 川 稲 垣	Ⅲ 前	各種ビタミンの抽出、化学的定量、動物実験および、醗酵微生物実験、主要酵素の分離、測定。
栄 養 生 理 学	小 池	Ⅲ 前	人体を構成する各臓器の構造と、そこにおける栄養素の代謝について述べ、健康の基盤を明らかにする。栄養生理学（小池著）女子栄養大出版部 ￥1000
食 品 化 学	山 西	Ⅲ 前	食品の色、味、香に関する化学
食品化学実験	山 西 中 谷	Ⅲ 前	食品成分の分離、定性、定量及び簡単な有機合成。
食品加工貯蔵学	福 場	Ⅲ 後	でんぷん、脂肪等の食品構成成分の貯蔵間の変化および最新の食品貯蔵法と食品品質の問題について主として取扱う。
調 理 学 第 一	松 云	Ⅲ 前	調理の面からみた食品の性質についての講義。
調 理 学 実 験	松 元	Ⅲ 後	調理操作の間に起る問題点に関する実験。松元文子著「全訂調理実験」柴田書店 ￥450
調理学実習第一	板 橋	Ⅲ 通	日本料理一般の講義実習。主として中国料理一般の講義実習。
食物学基礎実験	田 村	Ⅱ 後	食品の一般成分の分析法および化学実験の基本操作。 家政学実験シリーズ / 3 食品学実験（山西編著）産業図書 ￥920



科 目	教 官	学 年	内 容
生物化学第一	荒 川	Ⅱ 通	栄養・食品・調理の基礎としての糖質・たんぱく質・核酸・脂質等の化学その物質代謝およびその生化学的意義について。
有機化学	中 谷	Ⅰ 通	基礎化学D (塩田教授)を同時にとること。有機化合物の分離・同定・立体化学・天然物化学の基礎。(丸善 HGS 分子構造模型A型)
食品物性論	右 田	Ⅲ 前	食品の巨視的な物理的および化学的性質をコロイド論の立場からのべ、その食品としての意義および調理加工への応用の基礎を示す。
特殊栄養学	小 池	Ⅲ 後	ホメオスタシスの機構を明らかにし、成長、老化、妊娠、労働についての変化と、栄養の役割について述べる。参考書:栄養生理学¥1000
食品学	山 西	Ⅲ 後	農産及び水産食品につき、食品としての特性及び調理加工による変化など講述。
食品学	藤 卷	Ⅲ 後	牛乳、食肉、鶏卵についてそれらの理化学的性質、加工の意義、加工品の性質などについて食品化学的立場から解明してゆきたい。
食品微生物学	藁 田	Ⅲ 後	食品微生物の種類、生育と増殖、培養、分離、保存、変異、ファーゼ、微生物菌体と食品、微生物酵素と食品、微生物代謝と食品、醸造。
食物衛生学	興 津	Ⅲ 後	食品衛生を理解するために必要と考えられる食品衛生法規、食品添加物、食中毒、経口伝染病などについて講義を行なう。
調理器具論	武	Ⅲ 後	熱調理器具(オープン・レンジ・トースター・圧力なべ)、成型器具(包丁・ミキサー)、食器などにつき、種類、材質、構造、品質、性能について講義する。
調理学実習第二	吉 松	Ⅲ 通 Ⅳ 前	主として欧風料理及び中国料理の一般の講義実習並びに献立構成及び食卓作法。

科 目	教 官	学 年	内 容
基礎化学Ⅱ	木 下	Ⅱ 前	化学を熱力学の立場から見るために、熱力学の基本的な体系と化学への応用(相平衡、化学反応の平衡、溶液現象など)を調べる。
食事計画論	松 元 東 畑	Ⅲ 前	日常食献立の理論と献立作製の演習、並びに病人の場合の食事計画と献立作製に関する講義。
食糧政策	桜 井	Ⅲ 後	主として日本の食糧に関し、過去、現在、将来に亘り、経過と動向とを栄養、嗜好、経済等の立場から考察する。
食物史	石 川	Ⅲ 後	わが国における食生活の構造的発展とその特質を、近世から近代にいたる社会激動期のなかで解明するように試みる。
食物研究法	吉 川	Ⅲ 後	食物は衛生、栄養、嗜好の視点から満足を与える特性が要求される。食物の総合的評価と物質的な特性との関係の研究法について解説する。食品の官能検査法 光琳書院¥700
食物学特殊講義	古 賀	Ⅲ 後	食品物性、食品物理化学及び食品機器分析法に関する概論的な講義。
食物学演習	松元他	Ⅳ 通	外国で発表された近着研究論文の解説と討論。
調理学輪講	松元他	Ⅳ 通	調理学に関する文献の輪読。
生物化学第二	五十嵐	Ⅲ 前	生体高分子の生合成、光合成、代謝調節などについて。 基礎教育科目の講義内容参照のこと。
基礎生物学Ⅱ 基礎物理学C・D			理学部参照。
食品学輪講	山西他	Ⅳ 通	食品学に関する文献の輪読。
栄養学輪講	稲垣他	Ⅳ 通	栄養学に関する文献の輪読。
調理学実習第一	吉 松	Ⅱ 後	主として基礎的調理一般の講義実習。
調理学第二	吉 松	Ⅲ 後	手法別調理に関する講義。

被 服 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
被服材料学第一	松 川	I 前	被服材料の種類。繊維の構造と基本的性質。糸、織物、編物等の構成と性質。繊維各論（製造、構造、性質など）。新版被服材料（松川）家政教育社 ¥750
被服材料学実験第一	松 川	II 前	糸、布の構造。繊維測面の検鏡。繊維の鑑別。布の引張り強さ、伸び率、防しわ性、ドレープ性、吸水量、収縮率、帯電性、保温性。被服実験ノート ¥70
染色化学第一	林	II 前	1. 染料の部属別分類と特性。2. 染料染色物の色。3. 染色堅牢度。4. 染色理論の概要。5. 各種繊維の染色法。矢部・林：染色概説（光生館：¥600）
染色整理学実験	林	II 後	1. 染料の部属鑑別。2. 直接染料による染色。3. 酸性染料による染色。4. 水の硬度測定（比表面張力セッケン法）。5. 洗剤溶液の特性。浸透力、P.H.）。6. 洗浄力試験。7. 蛍光増白・漂白。8. ろうけつ染。
被服整理学第一	林	I 後	1. ヨゴレ。2. 洗タクの条件。3. 洗浄剤。4. 洗浄力試験法。5. 洗浄による被服の劣化。6. 仕上げと加工。矢部・林：被服整理学概説（光生館：¥600）
被服機構学	三 平	II 前	人間——被服——外界を一系とする被服の熱・水分等の伝達問題、変形・拘束問題およびそれが被服の構造との間連をシュミレーションとレオロジ理論から解説する。
被服構成学第一	柳 沢	II 後	衣服の立体構成に関する基礎的事項。
被服構成学実験実習第一	長谷部	I 通 (Aコース)	衣服構成に必要な布地の縫合、曲面化に関する事項。

科 目	教 官	学 年	内 容
意匠学実習	熊 本	I 前	平面デザインの基礎練習。①自然形による構成②抽象形による構成③メカニックなパターン④オートマチックなパターン⑤構成原理と配色
服飾意匠学	板 倉	II 後	
服飾美学	谷 田	II 後	造形活動全般の中における服飾造形の位置づけ、服飾の多元的契機、服飾類型等の基本問題。
日本服飾史	谷 田	I 後	上代より近世に至る服飾の概観。特に基本資料の紹介と検討を加える。
被服材料学第二	中 島	II 前	1. 高分子の化学構造とその物性・反応性との関連 2. 繊維の微細構造とその物性・反応性との関連 3. 紡織 4. 布の特性と評価法
被服整理学第二	矢 部	III 前	界面活性剤溶液の性質（界面活性、ミセル形成、界面電気）界面活性剤溶液の作用（ぬれ、分散、再沈着防止と疎水コロイドの理論）機械作用。
基礎化学実験	松 浦	II 後	定量分析〔天秤・容量（中和・酸化・沈殿）重量〕融点・分子量測定・密度・粘度・再結晶・蒸留・抽出・クロマトグラフィー、プリント使用。
被服衛生学	吉 田	II 後	被服の健康生活における役割を、環境衛生、体温調節等基礎、衣服気候、生活中の衣服等応用から論じる。最新被服衛生学（田多井）光生館 ¥680
被服学成学実験実習第二	柳 沢	III 通	体型観察並びに衣服の立体構成に関する実験実習

科 目	教 官	学 年	内 容
色 彩 学	金 子	Ⅲ 後	現代色彩学から特に色彩感覚知覚の生理学と心理学および測色学について学び色彩デザインの問題も考察。「色の科学」(金子著)みずす ¥600
西 洋 服 飾 史	谷 田	Ⅱ 前	古代より近世に至る西洋服飾の主流の概観。
織 維 化 学	松 川	Ⅲ 後	高分子化合物の重合、分子構造、分子量、結晶、溶液特性、固体物性などを、繊維とゴム、プラスチックとの関連を考慮しながら述べる。
被服材料学実験 第 二	中 島	Ⅲ 通	1. 繊維・布の評価の基礎実験(力学的性質、熱的性質、他) 2. 高分子化学基礎実験(ナイロンの分子設計、分子量、熱特性、他) 田中編:被服材料学実験(産業図書、¥850)およびプリント
応用物理化学	矢 部	Ⅲ 後	化学反応速度論、染料の染着状態、(溶液中での会合、固相での会合)光退色の理論(光化学反応、光退色反応次数)洗浄系の解析。
染色化学実験第一	林	Ⅲ 前	1. アゾ染料の合成。2. 染料の精製。3. 混合染料溶液の分光吸収曲線。4. 染着量の定量(残浴定量・ピリジン抽出法)。5. 各種染料の染色堅牢度。
染色化学実験第二	矢 部	Ⅲ 後	測色と三色刺激値の算出、分散染料の染着平衡、直接染料の脱着平衡、セロファン巻層法による染色速度の算定、など。
被服整理学実験	林	Ⅲ 後	1. 水の硬度測定(EDTA法) 2. 界面活性剤水溶液の性質(表面張力・cm. c.の測定・起泡力・繊維への吸着とすすぎ効果) 3. 洗浄の基礎の実験。

科 目	教 官	学 年	内 容
被服科学演習第一	松 川	Ⅲ・Ⅳ通	繊維の諸性質を他の高分子化合物と関連させながら外国書によって学ぶ。Textbook of Polymer Science (F. W. Bilmeyer) トップンの予定。
被服科学演習第二	矢 部	Ⅲ・Ⅳ	“Surface Activity and Detergency” K. Durham “The Physical Chem. of Dyeing” T. Vickerstaff. の講読。
被服科学輪講	矢部他	Ⅳ 通	
織 維 物 理 学	木 下	Ⅲ 前	繊維集合体(糸、布)の機械的および物理的性質、たとえば引張り強さ、疲労、摩耗、しわ、熱、光、通気性、触感に関する理論と性能。
基礎物理学A・B			理学部参照。
基礎化学Ⅱ		Ⅱ	理学部参照。
統 計 学	田 口	Ⅲ 前	(1)調査、実験データの解析法 (a)変動、分散、自由度、F検査などの基礎的事項 (b)一元、二元配置法等簡単な実験の計画法とデータ解析法、統計解析田口玄一著(丸善)
統計学演習	田 口	Ⅲ 前	(c)測定、試験、分析、計測などにおける誤差の取扱い方 (2)統計資料の作り方と利用法 統計資料、特に身体計測統計資料の作り方とその利用の仕方について実際の例で説明する。
被服学特殊講義		Ⅲ 前	必要に応じて随時開講する。
被服構成学実験 実 習 第 三	伊 藤		衣服の平面構成に関する実験実習。

科 目	教 官	学 年	内 容
被服構成計画	渡 辺	Ⅲ 後	主として防寒服, 防暑服設計について。
被服構成学特講	丸 安	Ⅲ・Ⅳ前	写真測定法による人体測定。採寸方法。自動製図および自動裁断。
被服構成学演習	武 井	Ⅱ 前	衣服構成に関する基礎的事項並びに基礎的技術。
服飾意匠実習第一	板 倉	Ⅲ 前	
服飾意匠実習第二	渋谷	Ⅳ 前	立体裁断による design を主体とし, grading および工業 pattern への展開実習。
服飾意匠学特講	石 山	Ⅳ 前	服飾意匠各論。テキスト, 谷田・石山共著, 服飾美学・服飾意匠学, 光生館, ¥700
東洋服飾史	谷 田	Ⅲ 後	中国服飾史を中心とし, 特にその日本服飾への影響関係に及ぶ。
服飾美学特講	谷 田	Ⅲ 前	近世服飾における古風と新様の問題。特にだて, すゐ, いきの系譜について。
服飾美学演習	谷 田	Ⅳ 通	美学的研究の基本態度を養うための講読その他。
美学特講	谷 田	Ⅳ 通	美的世界観の問題。その基本的構造と具体的様相。
服飾史特講 A	田 実	Ⅲ 前	日本のきものの原形である小袖について, その形態, 模様, 生地の変遷を, 主として実証例に基づいて説明 (スライド併用) 講義をすすめる。
服飾史特論 B	丹 野	Ⅲ 後	衣服の原始形態の類別と, その発生的特徴さらにそれらがどのような歴史の必然によって変るか, 西欧の具体例によって解明を試みる。
基礎数学 II			基礎教育科日の講義内容参照のこと。
被服構成学演習	柳 沢 長谷部	Ⅳ 通	被服構成学の講義に関連した演習。

科 目	教 官	学 年	内 容
服飾意匠学演習 A	板 倉	Ⅲ 通	
服飾意匠学演習 B	板 倉	Ⅳ 通	
被服構成学第二	長谷部	Ⅰ 後	衣服構成における布地の取扱いに関する諸問題。
被服科学輪講	矢 部 松 川 林 中 島	Ⅳ	近着外国文献 (英・米・独) の輪読と討論。
染色化学第二	矢 部	Ⅲ 前	色の物理的表示, 有機化合物の色と化学構造, 染色平衡論 (平衡の熱力学を中心に, 染色速度論 (繊維相拡散を中心に))
被服衛生学	吉 田	Ⅱ 後	環境としての衣服と健康。作業服・幼児服を中心にした衣服と人間工学。寝具・履物などと健康の問題。最新被服衛生学 (田多井著) ¥680 光生館

家庭経営学科

科 目	教 官	学 年	内 容
家政学原論第一	田 辺	I 前	家政学基礎論, 生活論
家庭経営学総論	田 辺	II 前	家庭経営の理念と計画を中心として総括的に考えてゆく。
生活史第1	田 辺	II 後	総論。人の生活の歩みを, とくにいくつかのエポックをとり上げて述べ, 人間の特質との関係を考える。
住居学概論	浜 口	II 後	生活を包む住居が構築体として形成されるために必要な要素気候風土, 社会経済家族材料技術工法等を自然科学, 社会科学工学の関連において考える。
家庭生活論	田 辺	II 後	家庭生活(家事を含む)を, その歴史, 現状などから, 諸論を対照しながら論ずる。
家庭経済学概論	伊 藤	I 前	家庭経済についての基礎的理解と家計の現状分析。
家庭経済学第一	伊 藤	II 後	家庭経済についての理論的考察。
家族関係学概論	湯 沢	I 後	家族関係の基礎理論を, 概念・構成・制度・社会構造, 研究方法・外国家族等に即して解説する。家族関係学講座全般の入門的講義。
家族関係学第1	湯 沢	II 前	家族関係のうち, 夫婦・親子・兄弟・親族・同族等の内部構造の社会学的考察。テキスト, 湯沢雅彦著「家族関係学」¥650 光生館。
家庭法律学	湯 沢	III 前	家族法の特質, 婚姻・親子・扶養・相続の法的構成を中心に, 戸籍, 家事裁判のほか今日の家庭生活をとりまく債権・物権関係にも触れる。
統計学			被服学科参照。
家庭経営学演習	田辺他	III 通	論文, 著書の講読と討議。

科 目	教 官	学 年	内 容
家政学原論第二	田 辺	III 前	主として家政学について, その成立, 現状, あり方など。
生活史第二	田 辺	III 後	各論。
人口学	黒 田	III 前	(1)人口学の多元科学的構造と研究の現状, (2)開発国, 開発途上国の人口問題, (3)日本の人口問題の構造・特徴(必要資料は授業の都度配布する)。
人類学	田 辺	III 前	人類の身体及生活を総合的に述べ, またその中の特殊なテーマについてはなす。
人類学実験実習	田 辺	III 後	調査・研究に必要な基礎的なことについて。
人間工学	大 島	III 前	家政学との関連において人間工学の概要を述べることとする。 アーゴノミクス(大島編)朝倉書店¥1800
精神身体学	杉	III 後	人間は精神身体的な存在である。近時, 発達した神経ホルモン相関の生理学・大脳生理学から, この精神身体存在の機序と意義を考察する。
家庭経済学第二	犬 塚	III	美濃部亮吉, 宇野政雄, 氏家寿子共著「新しい生活経済学」L. J. Gordon "Consumers for Economics"等を参考にしながら, 消費者主体の立場から経済現象を解明し, 消費者行政にまで言及する。
家族関係学第三	日 上	III 後	家族心理学。夫婦・親子・嫁姑・三角関係等家族を中心とする人間関係について, 関係診断, その診断基準, 関係治療などを講義する。
家計簿記	犬 塚	III 前	簿記の原理一般について講義し, 後期「家計簿記実習」のため理論的基礎づけを行う。
家計簿記実習	伊 藤	III 後	家計簿記記入事項の項目分類, 記帳の実際, 記帳結果の検討。

科 目	教 官	学 年	内 容
生活設計論	青 木	Ⅲ 前	1.生活設計の意義と目標 2.国民生活の現状 3.アメリカの生活設計 4.生活の短期設計, 貯蓄と消費のバランス 5.生活の長期設計
購 買 論	犬 塚	Ⅲ 前	企業サイドからのマーケティング, 価格決定 メカニズム, 流通機構の問題点を解明し, 消 費者の主体性確立のための提言を行う。
購買論実習	犬 塚	Ⅲ 後	前期「購買論」の理論的基礎づけのもとに, 各自の問題意識にもとづくテーマに従って実 証的研究を行う。
家族関係学第二	山 室	Ⅲ 後	家族関係に関する学説史を, その背景となっ た家族史に留意しつつ論述する。とくにテキ ストは使用しないが, 参考文献を随次提示す る。
比較家族研究	森 岡 (46年度 開講)	Ⅲ 前	現代の日本家族についてとくに問題となる諸 点を, 我国の家族との比較のもとに論ずる。 今年度は家族周期, 家族の変動などを取り上 げたい。
家族臨床心理	岡 堂	Ⅲ 前	家族関係における心理的問題を臨床的に評価, 処遇するための原理と技法について。参考書 「家族関係の臨床心理,(岡堂著)新書館 ¥980
家族臨床心理 実 験 実 習	岡 堂	Ⅲ 後	家族関係のダイナミックスを心理診断法によ って理解するための基礎的技法を学習する。
家庭生活調査法	湯 沢	Ⅲ 前	家庭の家族関係と経済生活の究明を中心とし ながら社会調査法全般に及ぶ。調査の意義, 種類, 方法, 設計, 集計, 分析, 検定, 解釈 等。
住居設備及び 環 境	藤 井	Ⅲ 前	温湿度・換気・明るさ・音響などの快適な室 内環境を実現するための建築設計上の問題点 および必要な住居設備について解説する。

科 目	教 官	学 年	内 容
統計学演習			被服学科参照
家庭管理学概論	稲 葉	Ⅱ 後	家庭生活における労力と時間の使い方に関す る一般論。
家庭経済学第三	伊 藤	Ⅲ 後	家庭の生活水準について。

共通科目

科目	教官	学年	内 容
児童学概論		I 前	小児保健の概要及び育児の要点について、児童学の分野・対象・方法について。
食物学概論	稲垣他	I 後	栄養学・食品学・調理学の意義およびその基礎化学について概説し、それぞれの分野と食物学との関連および日常生活の問題点についても講義する。
被服学概論	全教官	I 前	被服材料学、染色、整理学、服飾美学、服飾意匠学、被服構成学の概要。
家政学原論	田 辺	I 前	人としての生活に於ける家庭の意義を家の機能、家族、生活慣習などの面から総合的に考えてゆく。
家庭経営学概論	伊 藤	I 後	家庭経営の理念、実践、そしてその問題点などについての概説。
住居学概論	浜 口		家庭経営学科参照。
家庭機械・電気	曾我部	II 前	1. 技術・家庭科の指導要領について 2. 機械製図 3. 機械要素研究 4. 電気回路の研究
調理実習	板 谷 寺 元 山 脇	III前・後	手法別、食品別系統による基本調理及び調理実験。
被服構成実習	祖父江	経 II	衣服構成に関する基礎的事項並びに基礎的技術。
同 上	武 井 某	児・食II	同 上
家庭看護学			

